

石川県感染対策支援ネットワーク主催
石川県感染対策講習会

麻疹・風疹の現状と対策
ー輸出国から輸入国へー



川崎市健康安全研究所
岡部信彦
平成29年11月5日



1800年代 日本の麻疹 (はしか)

20-40年おきの流行で、
大人も子どもも一斉に
感染

多くの人が命を落とし、
命定めの病として怖
れられた。



図11. はしか繪・はしか乃まもり
一萬歳堂製紙、文久二年六月刊行書本紙。



図13. はしか繪・はしか乃まもり・たらしの舞
一萬歳堂製紙、文久二年六月刊行書本紙。

麻疹の予防治療 万延元年庚申某月(1860年)

- 常に蓐上に安臥して温暖にする
- 常に悪寒を避け力めて全身を温暖し、熱汗を発生せしむべし
- 飲食は極熱極冷を忌む。冷水は決して飲むなかれ
- 麦湯、葛湯を最良とす
- 魚鳥一切喫食すべからず、川魚絶対に禁
- 筍、豌豆、蒟蒻、銀杏、柿、桃、糟漬喫食するなかれ
- 男女ともに交接を厳戒し、かつ暴飲大食を為さず
- 病後半年は男女の交接を厳戒すべし

- 黒大豆、緑豆、小豆、甘草、等分に煎じ、七日間服用
- 枇杷の葉、一人前十七枚煎じ、浴びてよし
- 燕を霜にして、葉ニラの汁にてつくべし
- 黒鷄の頭の霜、鮎の霜、黒豆の粉、そばの粉、アメ牛糞の霜、ニレの木皮、抹、目ハジキ草をつきしぼり、これを混ぜてその汁をつくべし



File:Rev W Awdry and Peter Sam - 1988-05-14.jpg
© Optimist on the run, 1988 / CC-BY-SA-3.0 & GFDL-1.2



https://www.google.co.jp/search?q=%E6%A9%9F%E9%96%A2%E8%BB%8A%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%82%B9&rlz=1C1EKKP_enJP682JP682&tbm=isch&tbo=u&source=univ&sa=X&ved=0ahUKewiBic3DxcvLahWFrJQKHbfrAS0QsAQIMA&biw=1824&bih=758#imgsrc=yMDAtQBOiQyANM%3A より

「きかんしゃトーマス」の原作となったのは、イギリス出身の作家ウィルバート・オードリーが出版した絵本でした。“はしか”で寝込んだ息子さんにウィルバートさんが語り聞かせた、人のような気持ちを持った蒸気機関車たちのお話が出発点、といわれています。

これが『汽車のえほん (The Railway Series)』というタイトルで出版され、そして「きかんしゃトーマス」となって、多くの子供たち(大人も)が知っている機関車たちとなりました。
(水ぼうそうの話もあります)



写真: 岡部所有

Imported Measles Cases 1996-2003*

CDC,USA

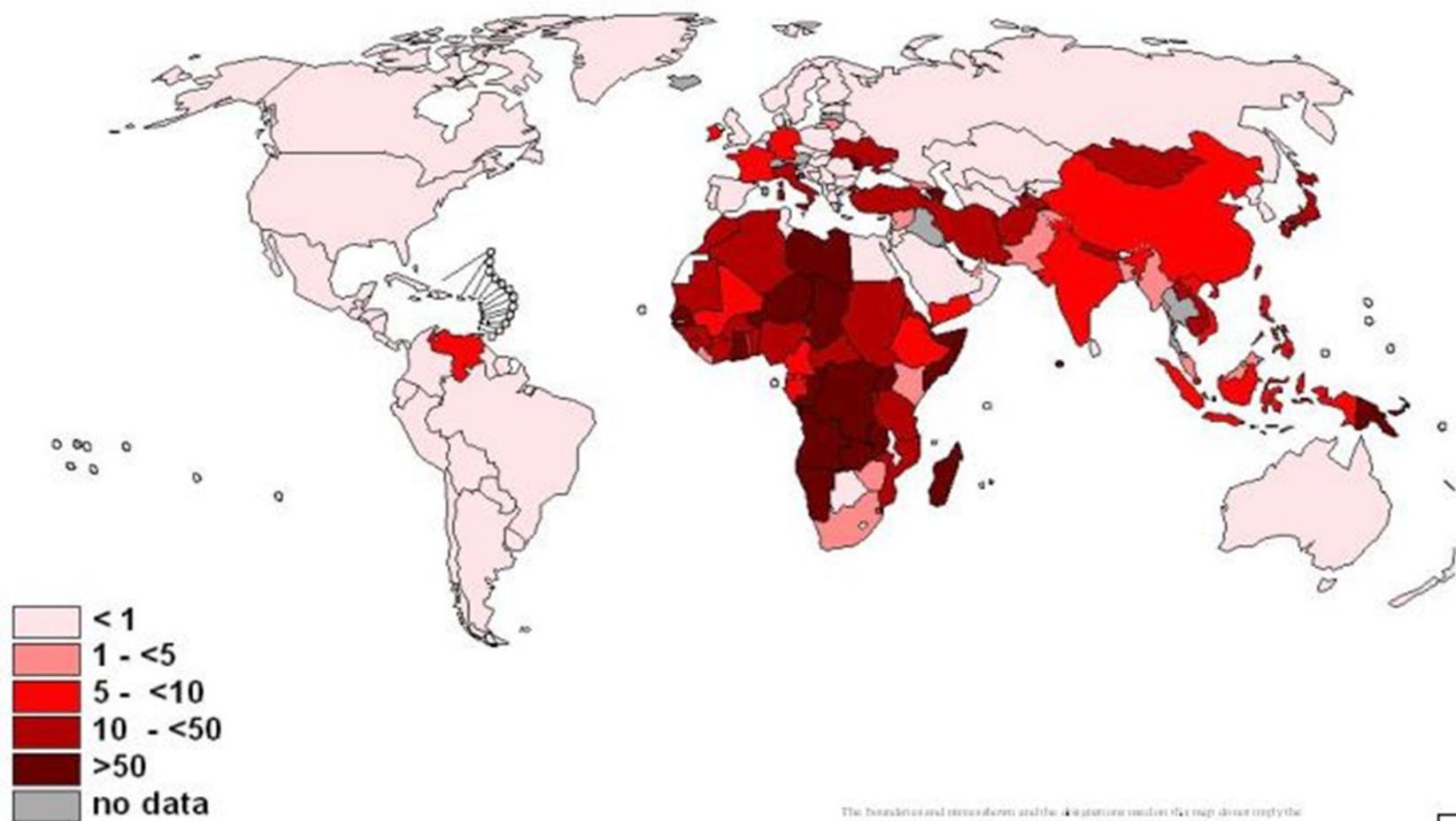
- Total Cases Imported - 290
 - **Japan – 44 cases**
 - Germany – 24 cases
 - China – 22 cases
 - Philippines – 17 cases
 - Italy – 16 cases
 - India – 15 cases
 - Pakistan – 14 cases
 - Greece, Korea – 10 cases each
 - All other countries – 118 cases

Imported Measles Case, Brazil, June 2001

Dr. Marilda M Siqueira (WHO Meeting)



Reported measles incidence rates per 100,000 population, 2002



Source: WHO/UNICEF joint reporting form, 2002

The boundaries and names shown on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



カナダで日本の修学旅行生が麻疹を発症して入院 2007. 5. 29海外ニュースより

- 5月24日に東京からバンクーバーに到着
- 到着後、生徒1人が麻疹の症状を発症し、現地の病院に
○
- 残り128人の生徒と、2人の先生は無症状だったが、カナダ西部にあるロッキー山脈近くのリゾートホテルで隔離される。
- 全員の採血を実施し、約40人が抗体陰性。
- この約40人は血液製剤であるガンマグロブリンを投与。
- 帰国時→飛行機に乗せてもらえない
- 数日、カナダに滞在→その後帰国

国際的なスポーツイベント（リトルリーグ）に関連した 麻疹感染の拡大

2008.2 MMWR



MMWR

Morbidity and Mortality Weekly Report

www.cdc.gov/mmwr

Weekly

February 22, 2008 / Vol. 57 / No. 7

Multistate Measles Outbreak Associated with an International Youth Sporting Event — Pennsylvania, Michigan, and Texas, August–September 2007

Measles, a highly infectious viral illness, is no longer endemic in the United States because of high coverage rates with an effective vaccine (1). However, imported cases continue to cause illness and outbreaks among susceptible U.S. residents (2–5). In August 2007, a participant in an international youth sporting event who traveled from Japan to the United States became ill with measles. Because he traveled while infectious to an event with thousands of participants and spectators, an outbreak investigation was conducted in multiple states by state and local health departments in coordination with CDC, using standard

by all teams. Access to the compound was restricted to a small number of officials, corporate sponsors, and event staff members.

Cases 1 and 2: Pennsylvania, Imported from Japan

A boy aged 12 years on the Japanese team (the index patient), who had unknown vaccination status, had been exposed to a sibling with measles-like illness in Japan in late July 2007. The boy had a sore throat and malaise on August 11 and traveled to the United States on August 13.

大学における成人麻疹集団発生事例－石川県 (IASR Vol.25 p 67-68, 2004)

2003年5月16日、K大生の麻疹患者が1名報告され、その後5月26日より徐々にK大生の報告数が増加(最終64名)、集団発生が危惧された。

6月5日、大学および保健所の関係者からなる麻疹感染拡大防止対策を検討するための会議を開催、双方の意識の共有化をはかり、**ワクチン集団接種を柱とした対策が決定され、即日実行に移された。**集団接種は**のべ6日間**にわたり、教職員その他を含め**6,368名**に行われた。集団接種に従事した医療スタッフは**のべ464名**、接種に要した費用はすべて大学が負担した。

石川県石川中央保健福祉センター(石川中央保健所)

谷村睦美 中村礼子 中村辰美 川島ひろ子

石川県保健環境センター

尾西 一 黒崎直子 大矢英紀 芹川俊彦



金沢市 渡辺礼二先生



2007年5月22日朝日新聞(朝刊)より

はしか 威猛

休講、都内学生15万人影響

早大ほぼ全学5.5万人

早稲田大(東京都新宿区)は21日、学生の一部がはしか(麻疹)に感染したため、ほぼ全学にわたって休講することを決めた。同日午後からただちに実施し、29日までの予定で、大学生や大学院生が約5万人に原別として登校を要した。はしかは首都圏で流行しており、豊が特に多い東京都内では全学の休講が相次いでいる。通学路の大学でも患者が確認されており、休講はさらに広がるようだ。

【全面に「時時刻刻」】

| 大学 | 早稲田大 | 上智大 |
|------------|-----------|----------|
| 休講期間 | 5/18日~27日 | 5/21~29 |
| 影響を受けた学生の数 | 約8000人 | 約1万2000人 |
| 確認された感染者 | 9人 | 30人 |

| 大学 | 創価大 | 中央大 | 日本大 | 駒沢大 |
|------------|----------|---------------------|------------------|----------|
| 休講期間 | 4/18~5/6 | 5/19~28 (キャンパスで異なる) | 5/16~31 (学部で異なる) | 5/17~30 |
| 影響を受けた学生の数 | 約8900人 | 約2万7000人 | 約2万6700人 | 約1万6000人 |
| 確認された感染者 | 52人 | 13人 | 91人 | 10人 |

(●は主な関係学部の所在地)

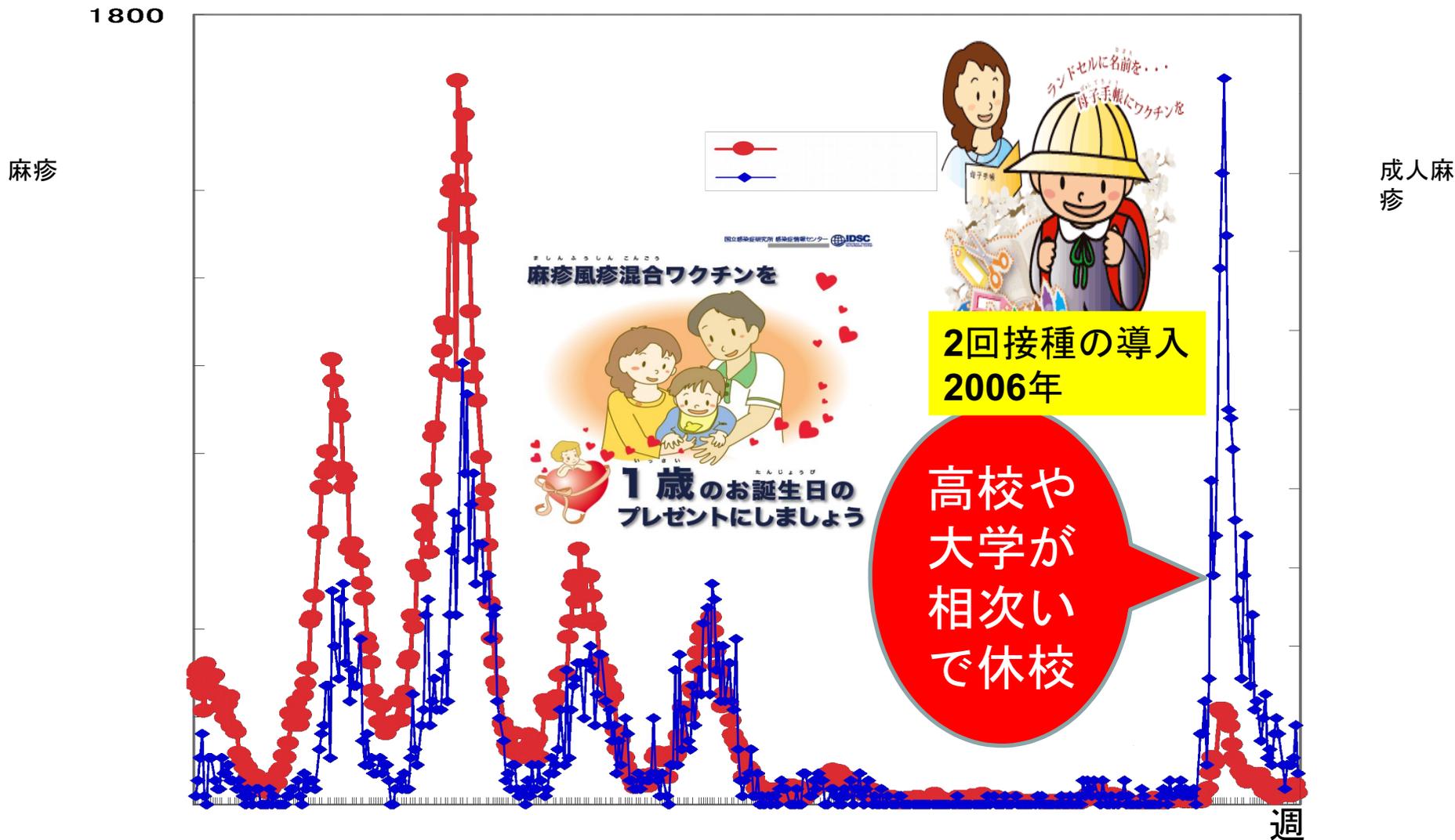
朝日新聞が都内に拠点を置く主な本に取材、集計したところ、21日までに学生15万人以上に影響が出ている。早大の休講は21日の4時過ぎ、午後7時40分開始から緊急に実施された。同日午前11時時点で感染を要した学生が30人に達したため、総合健康センターの医師は、自治体が一斉ワクチン急減自治体確保か、厚生労働省は21日、はしかワクチンの在庫が18日までの2割で約45万本から約29万本に急減したと発表した。関東地方を中心に広がる流行を受

頭で判断で踏み切った。学内放送や学生同士のインターネットサイトで連絡したという。

大学の北九州市を除外、北九州市を除く一帯が対象で、学生が学内から来ることを自覚させ、一時的に授業を停止させ、図書館やサークル活動の部屋を閉鎖した。硬式野球部は体育会部の活動については、部員が0歳にはしたことがなかったことが証明できる。

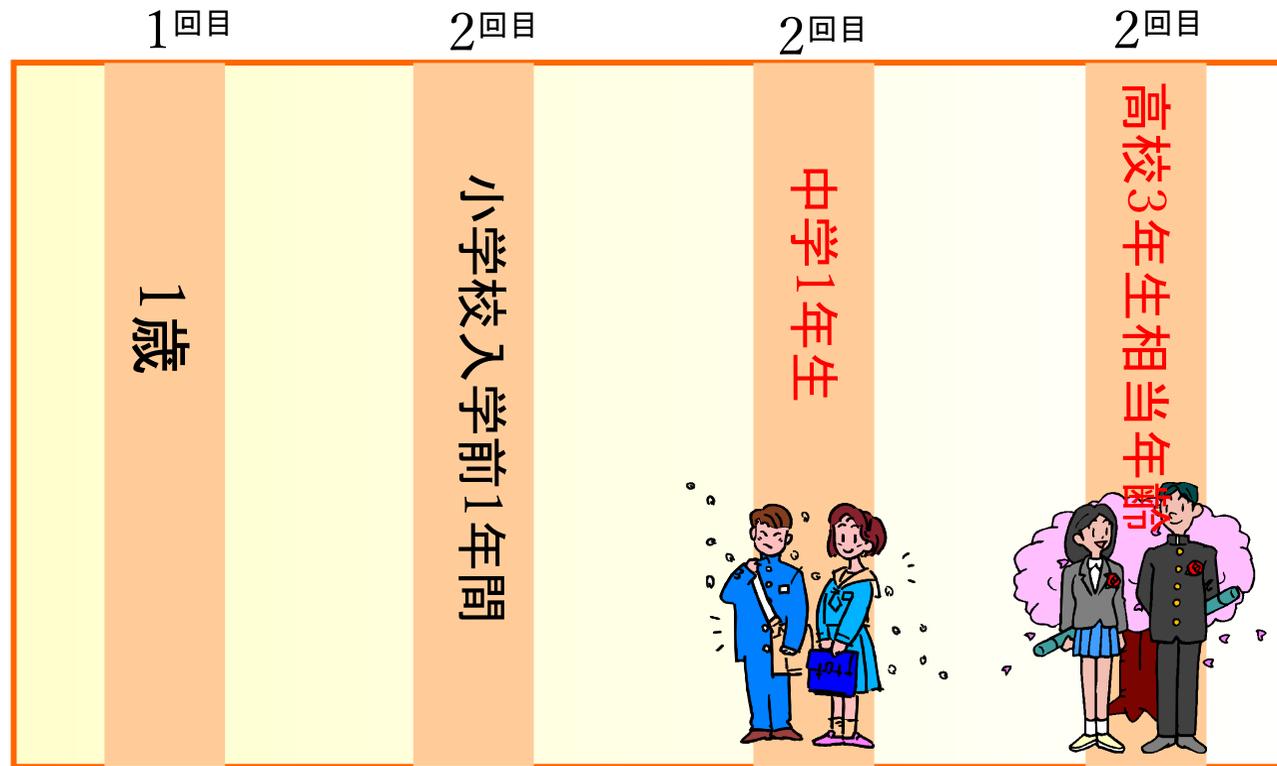
は、自治体が一斉ワクチン接種に動いようが原因とみられる。ただ、はしか・麻疹の後のワクチンは5月中旬に数万人の追加接種が予定されており、回復は二週間、在庫が底をつく心配はない」として、

麻疹の週別報告数(1999年第14週～2007年第52週 (感染症発生動向調査より))



| | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1999 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

2008年度から2012年度までの5年間の措置として 始まった思春期世代への2回目の予防接種



2006年から

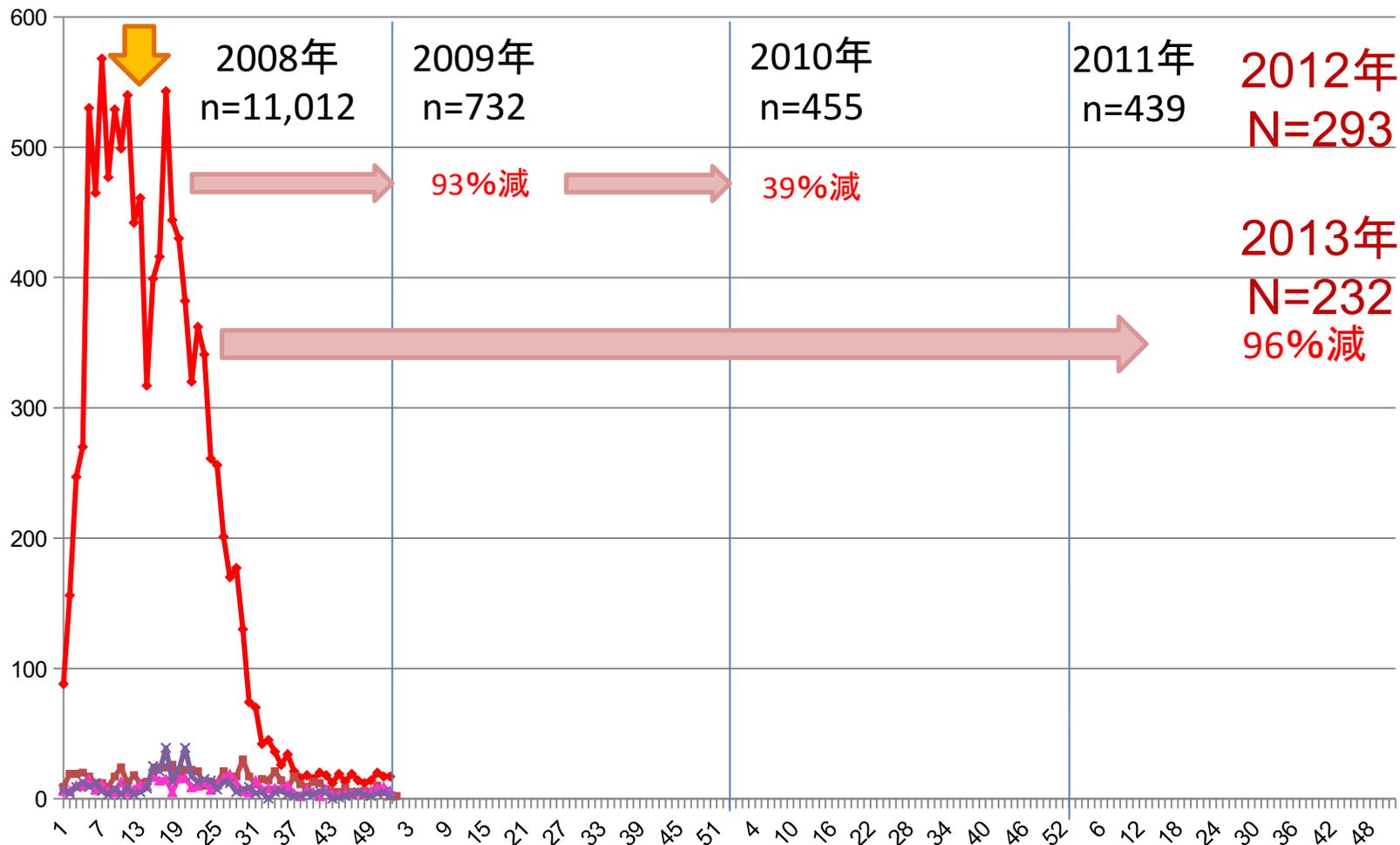
2000年:20~30万人
1期、2期開始

第3期・第4期接種開始

週別麻疹報告数の推移 (すべての医師に届け出義務)



(2012年3月14日現在)



世界保健機関 (W H O) 西太平洋地域事務局 (2015.3.27)

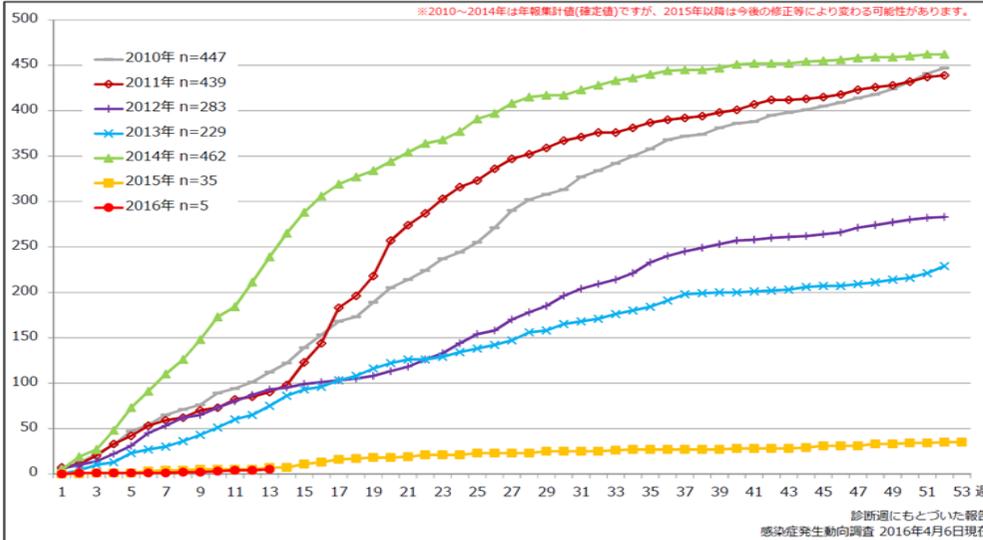
WHO西太平洋地域の麻疹評価委員会は、ブルネイ・カンボジア・**日本**は、麻疹排除 (measles elimination) を達成していることを確認した。(リベンジを果たした！)

2014年には、オーストラリア、マカオ、モンゴル、韓国の麻疹排除を確認している。

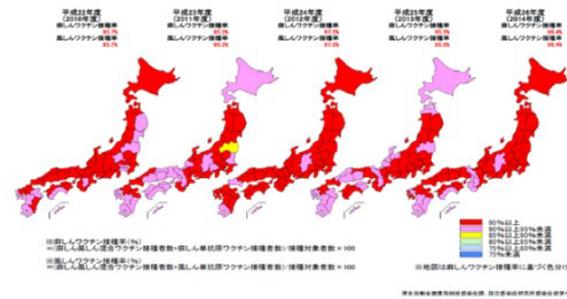
1. 麻疹累積報告数の推移 2010~2016年 (第1~13週)

Cumulative measles cases by week, 2010-2016 (week 1-13) (based on diagnosed week as of April 6, 2016)

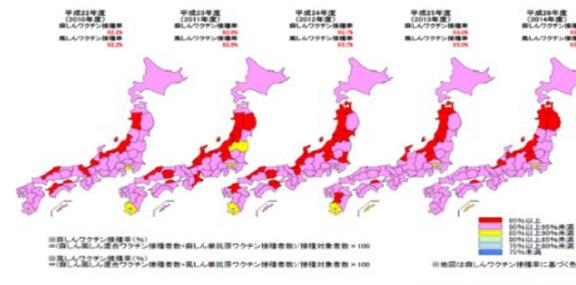
※2010~2014年は年報累計値(確定値)ですが、2015年以降は今後の修正等により変わる可能性があります。



第1期 麻疹風しんワクチン接種状況



第2期 麻疹風しんワクチン接種状況



麻疹ワクチン
接種率
上:1期
下:2期

- **Polio *eradication*** ポリオ 根絶
- **Small pox *eradication*** 天然痘根絶

疾患も、病原体も根絶やしに

- **Measles *elimination*** 麻疹排除
中国語：麻疹消
除

病原体まで根絶やしに出来ないが、
感染の連鎖を断ち切る(広がっていかない)

- 撲滅

麻疹排除 measles elimination とは

- **最後に確認された土着の麻疹ウイルス株（12か月以上地域循環した麻疹ウイルス）の存在から少なくとも36か月が経過し、土着の麻疹ウイルス株の地域循環がなくなっていることが示されること。**
- **麻疹排除の確認が可能なサーベイランスがあること。**
- **土着の麻疹ウイルス株の伝播がなくなっていることを支持する（麻疹ウイルスの）遺伝子型の証拠が存在すること。**

Global Distribution of Measles Genotypes: 2010-2015 (Courtesy, WHO, GMRLN, MeaNS)

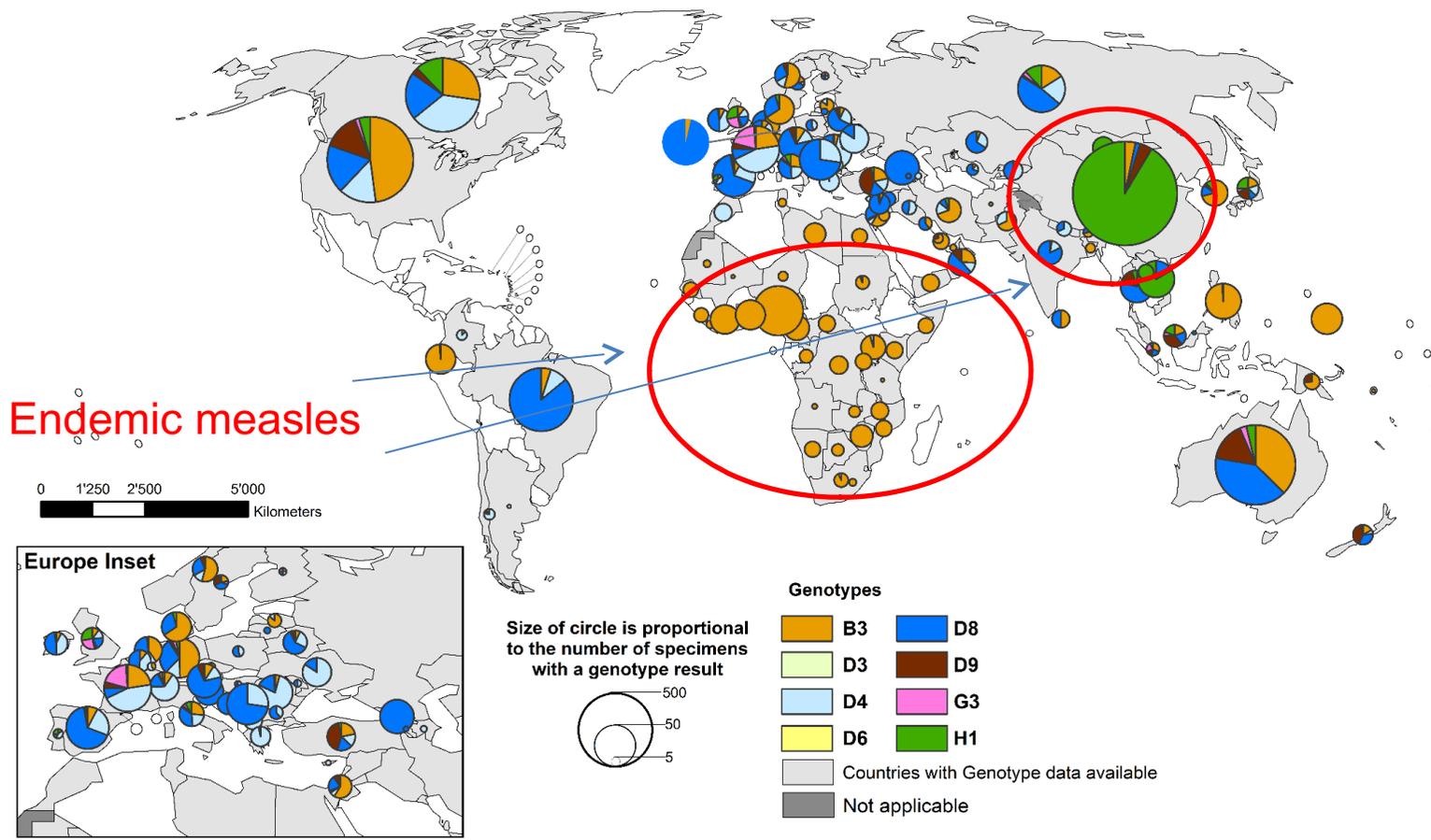
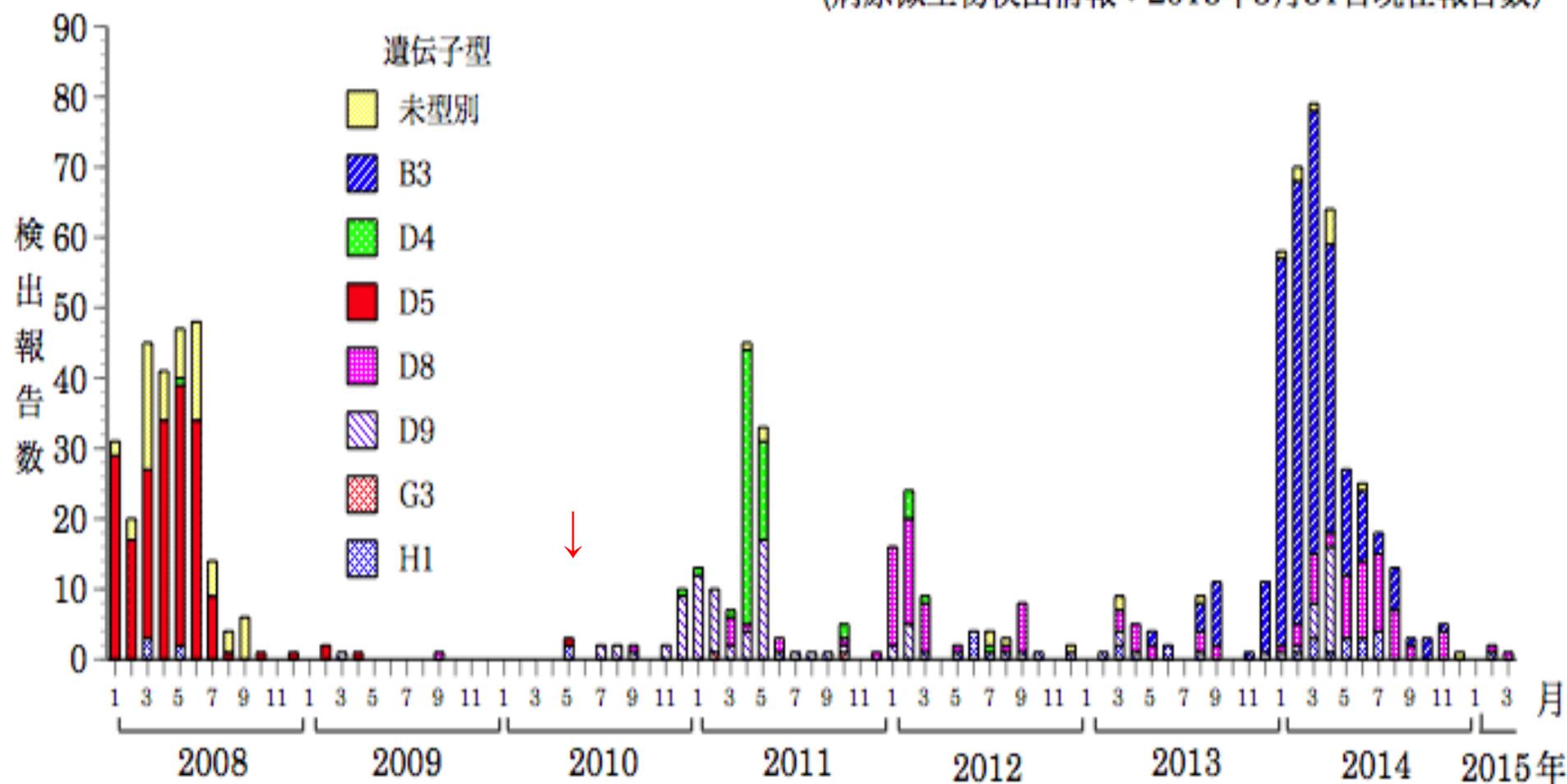
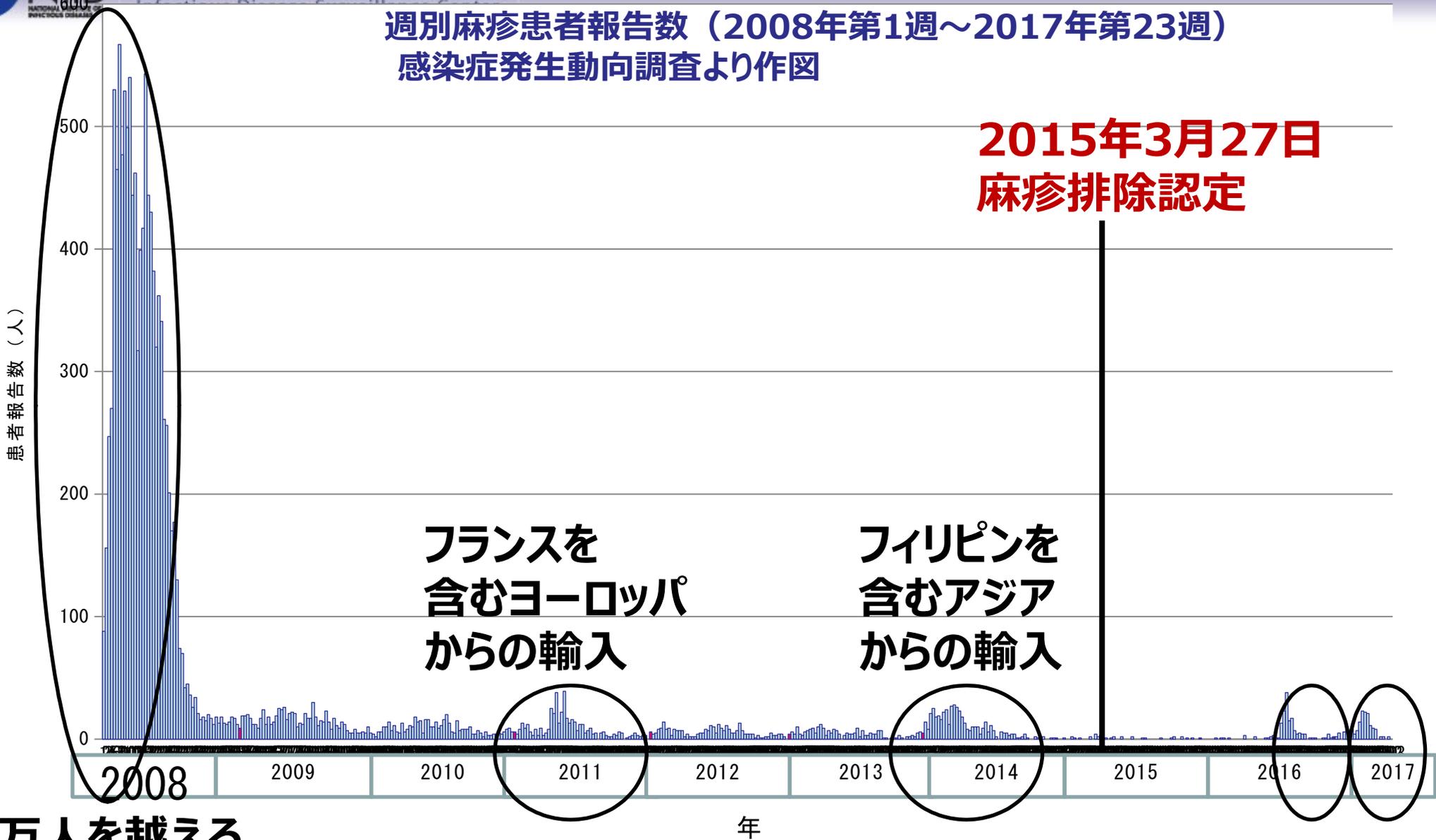


図4. 月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2008年1月～2015年3月

(病原微生物検出情報：2015年3月31日現在報告数)



週別麻疹患者報告数 (2008年第1週~2017年第23週) 感染症発生動向調査より作図



**2015年3月27日
麻疹排除認定**

**フランスを
含むヨーロッパ
からの輸入**

**フィリピンを
含むアジア
からの輸入**

**1万人を越える
大規模な全国流行**

出典：感染症発生動向調査(2017年6月14日現在)

麻疹累積報告数の推移 第1～35週 2010年-2016年

1. 麻疹累積報告数の推移 2010～2016年 (第1～13週)

Cumulative measles cases by week, 2010-2016 (week 1-35) (based on diagnosed week as of September 7, 2016)

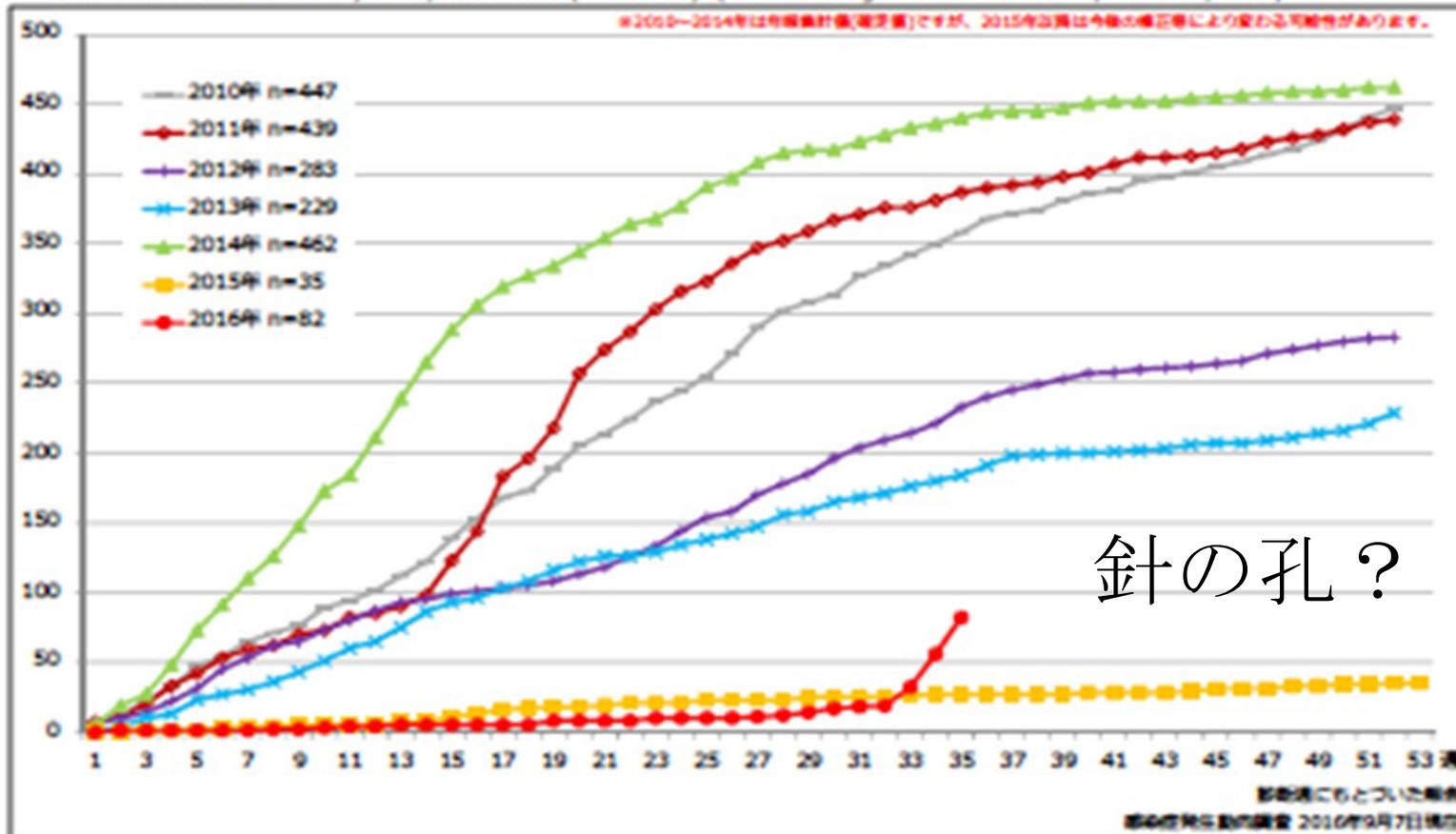


表. 症例リスト (n=13)

| 症例 | 年齢・年齢群 | 性別 | 発症日* (発熱or発疹) | 遺伝子型 | ワクチン 接種歴 |
|----|--------|----|------------------|------|-------------|
| 1 | 30代 | 女 | 7月12日 | D8 | 無 |
| 2 | 0歳 | 男 | 7月20日 | D8 | 無 |
| 3 | 4歳 | 男 | 7月29日 | D8 | 無 |
| 4 | 1歳 | 男 | 8月8日 | D8 | 無 |
| 5 | 20代 | 女 | 8月10日 | D8 | 不明 |
| 6 | 0歳 | 男 | 8月11日 | D8 | 無 |
| 7 | 0歳 | 男 | 8月11日 | D8 | 無 |
| 8 | 1歳 | 男 | 8月12日 | D8 | 無 |
| 9 | 15~19歳 | 男 | 8月13日 | - | 2回 |
| 10 | 5~9歳 | 男 | 8月14日 | D8 | 無 |
| 11 | 1歳 | 男 | 8月21日 | D8 | 無 |
| 12 | 5~9歳 | 女 | 8月23日 | D8 | 無 |
| 13 | 5~9歳 | 女 | 8月24日 | D8 | 1回 |

*発症日は患者行動調査によって更新されたものを含む

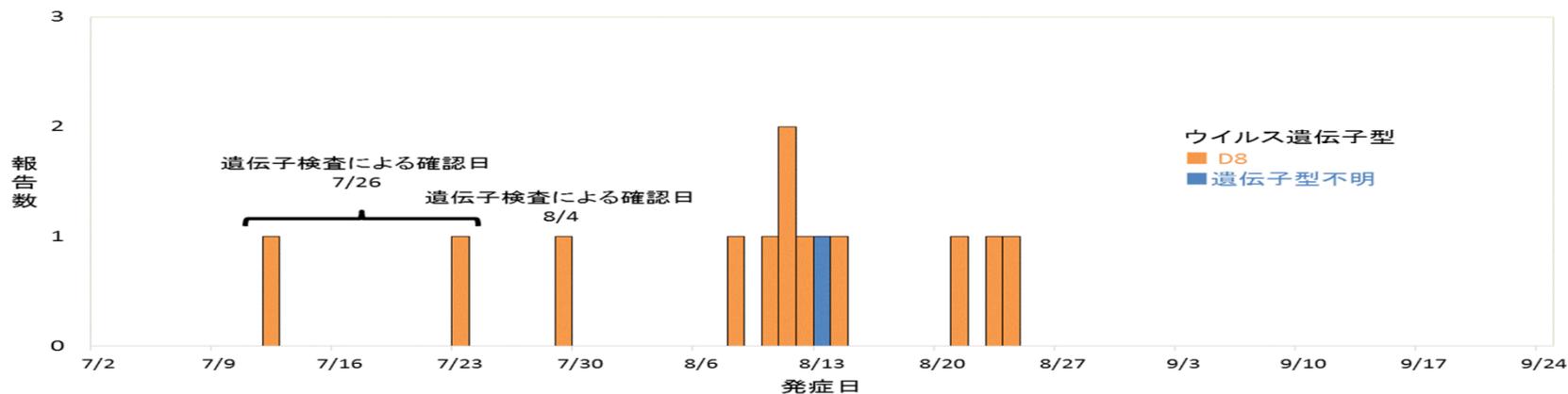
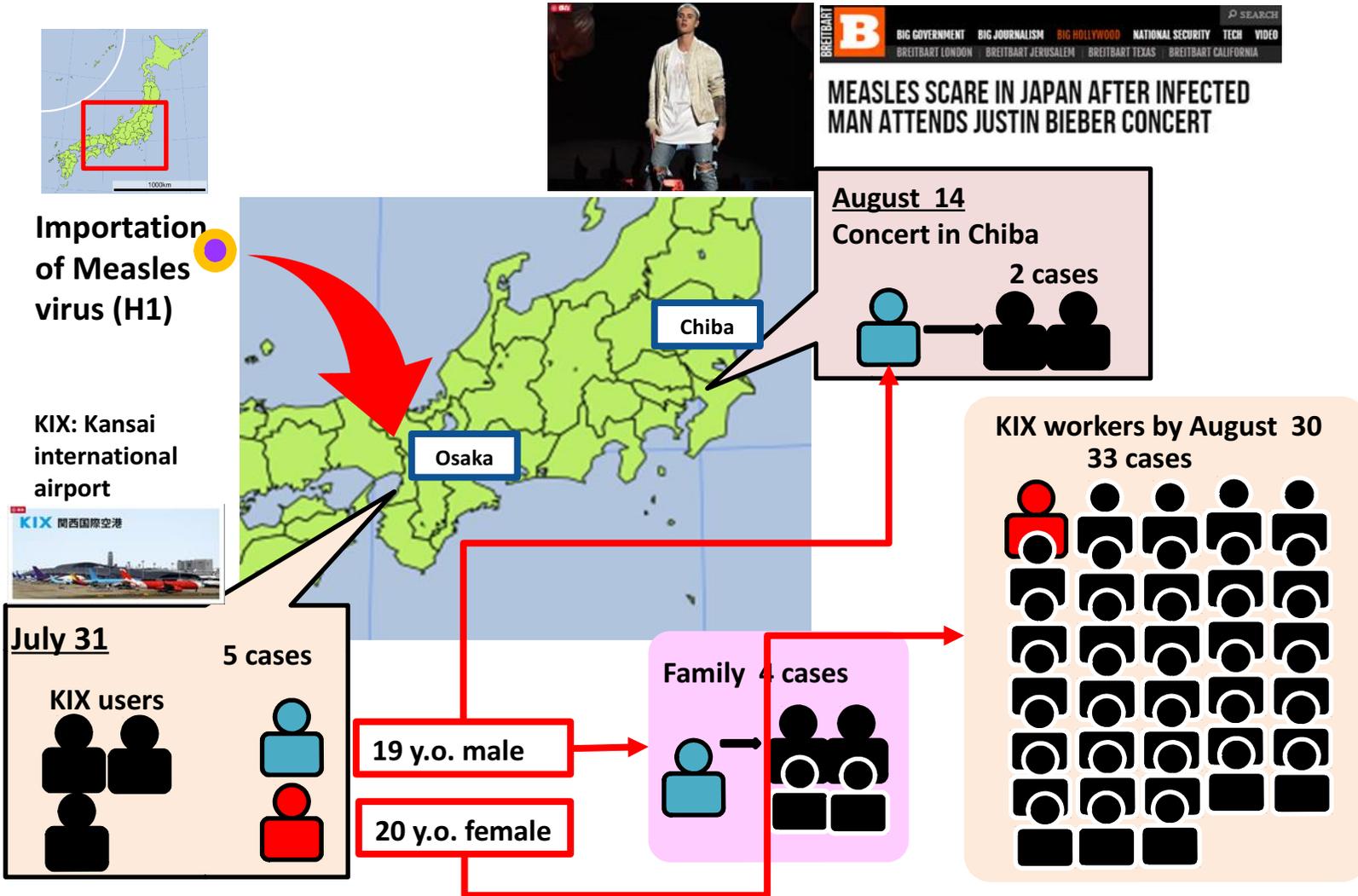


図. 流行曲線 (2016年9月24日現在 n=13)



Overview of recent measles outbreak, August 2016



Source: FETP-Japan (Drs. Kobayashi and Watanabe: Partially amended)

2017年 麻疹患者の経過(山形県)

- 2月20日～2月26日 バリ島に滞在
- 3月2日 置賜地域の自動車教習所(短期形式で合宿形式で全国より集まる)に参加のため横浜から新幹線で山形に移動
 - 利用した新幹線: つは き129号
 - 東京駅 8時56分発、赤湯駅 11時14分着
- 3月3日 38°C以上の発熱及び発疹が出現
- 3月8日 体調が改善せず、置賜地方の医療機関を受診
 - 同日、医療機関から麻疹患者として届出
- 3月9日 県衛生研究所での検査の結果、麻疹と確定

山形県報道発表資料

http://www.pref.yamagata.jp/pickup/interview/pressrelease/2017/03/copy2_of_02110223/press_file01.pdf

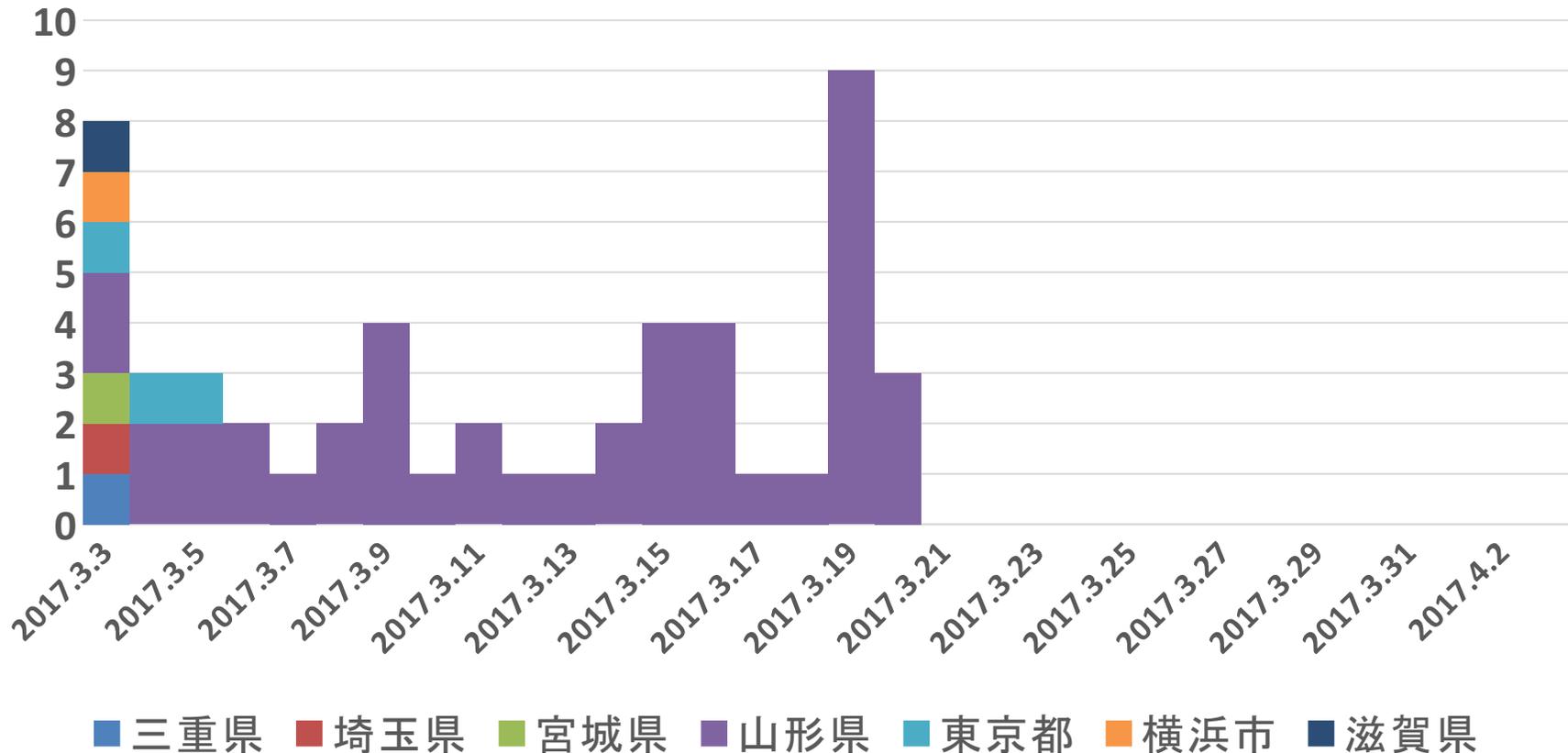
山形新聞ニュース

http://yamagata-np.jp/news/201703/10/kj_2017031000179.php

当該患者との接触者の発症状況

- 2017年4月4日時点で初発患者を含む**計52例**が発症
- 横浜市、山形県、埼玉県、宮城県、三重県、滋賀県、東京都

(例)



山形県報道発表資料に基づいて、川崎市見久安善研究所・三崎 まとめ

http://www.pref.yamagata.jp/pickup/interview/pressrelease/2017/04/copy20_of_02110223/

N大学病院での麻疹院内感染事例 (IASR Vol. 35 p. 108-109: 2014年4月号)

2013年末よりフィリピンからの入国者による麻疹の発生事例がいくつかの地域から報告されている時に、反復する発熱のために、自己炎症性疾患を疑われ、**当院に紹介されてきた幼児が麻疹であったことから、同室者をはじめとする7名が麻疹に罹患し、小児病棟の入室制限、麻疹罹患歴・ワクチン接種歴の調査、入院患者にはガンマグロブリン投与、スタッフに緊急ワクチン接種などが行われた。**

麻疹ウイルスはB3であった。

J医大入院例

64歳

主訴: 発熱、発疹

9/8 夕方～発熱

9/9 近医受診

9/10 J医大本院・総合診療科受診→帰院

9/12 同近医受診

9/14 症状増悪のため、再度J医大総診受診

発熱＋顔面紅斑様症状

肝機能障害あり、消化器内科へ

消内→個室入院(ウイルス疾患による肝機能障害疑い)

9/17 麻疹IgM:10.5 保健所報告

麻疹ウイルスD8検知

*麻疹罹患歴、ワクチン歴なし

平成29年10月12日

最近報告された麻疹患者に関する医療機関への注意喚起

国立感染症研究所感染症疫学センター(宮城県、富山県)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/7596-measles20171013.html>

2 麻疹症例が感染可能期間中に滞在したと報告された地域

富山市、宮城県報道発表内容と NESID 登録情報(平成 29 年 9 月下旬～10 月上旬に麻疹を発症した症例の情報)により作図。



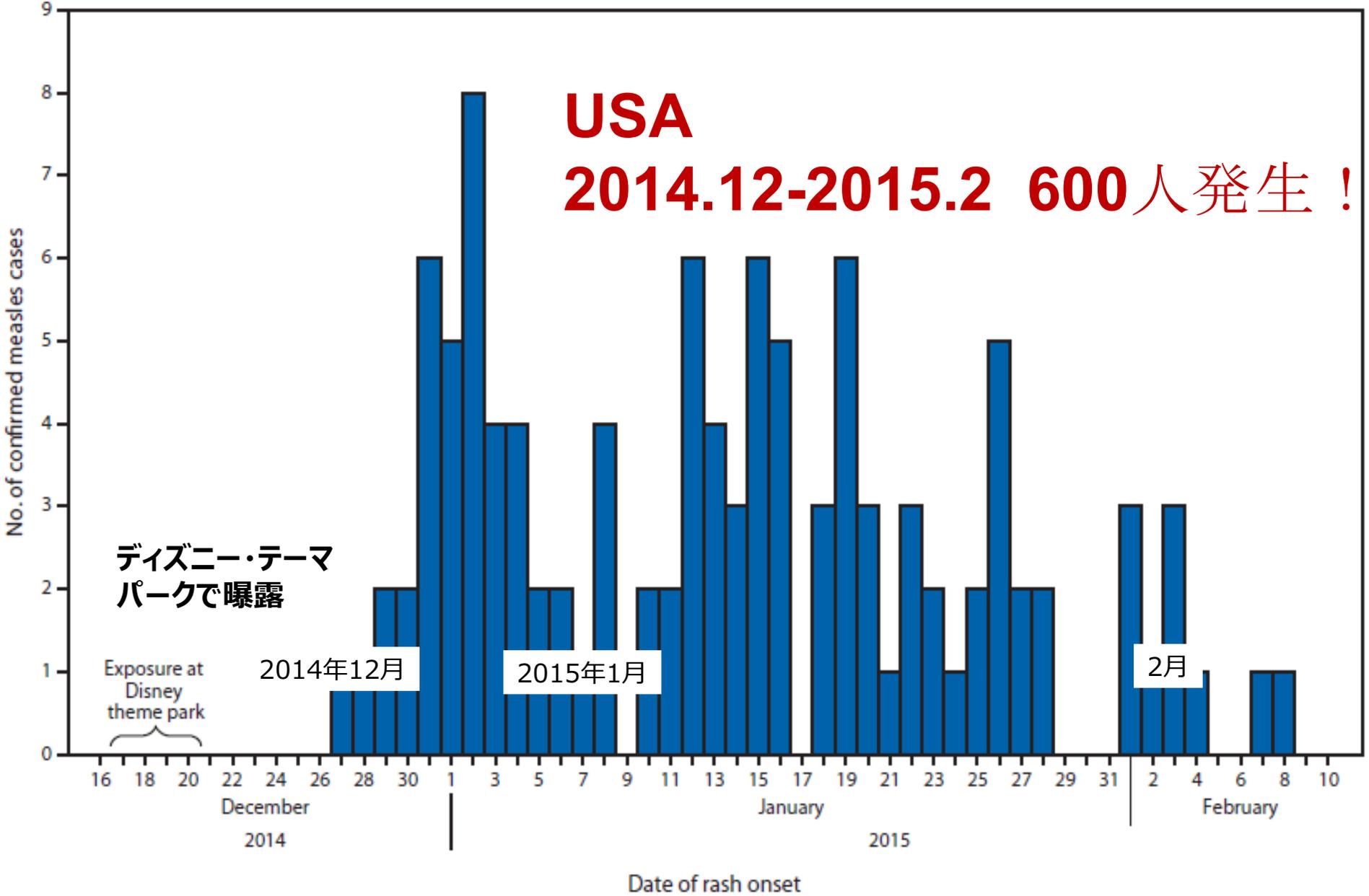
3 麻疹とは

(1)潜伏期間 10～12 日間

(2)症状等 初期症状は発熱、咳、鼻水等のような症状が見られます。数日続いた後、口の中に白い粘膜疹(コプリック斑)が現れます。その後一度体温が下がりますが、すぐに高熱となり、体

USA

2014.12-2015.2 600人発生！



ディズニー・テーマ
パークで曝露

Exposure at
Disney
theme park

2014年12月

2015年1月

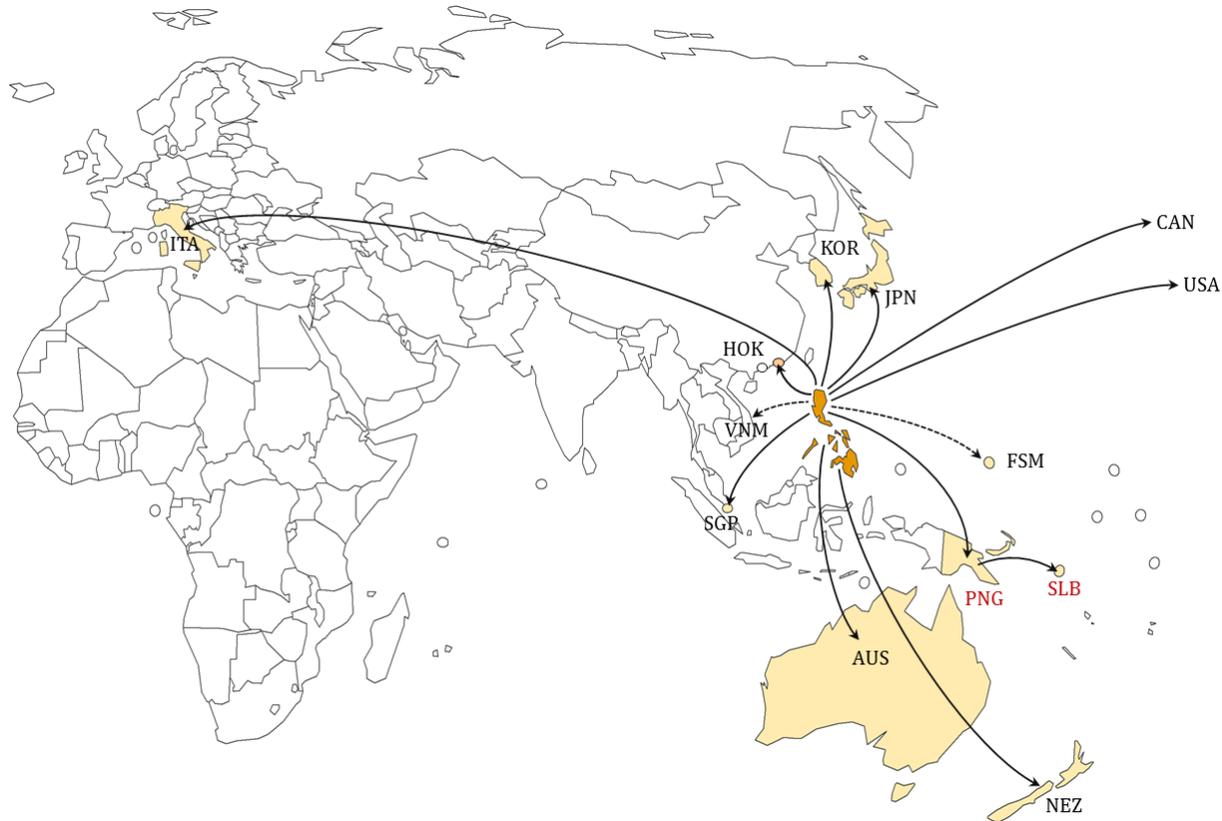
2月

米国CDCのホームページより
<http://www.cdc.gov/measles/cases-outbreaks.html>

Importation of Genotype H1 Measles Virus 2013-2016



Importation of Genotype B3 Measles Virus 2013-2015

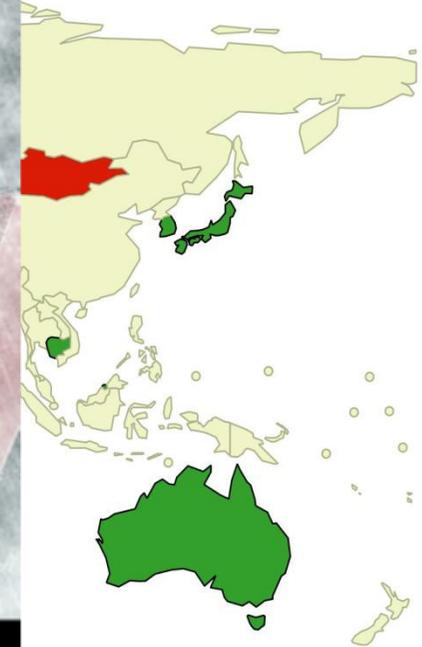


Status on Measles Elimination, September 2016

| | Categories | Countries, Areas, Epidemiological Blocks |
|---|--|---|
| 1 | Verified as having achieved elimination in 2014-2015 | Australia, Brunei Darussalam, Cambodia, Japan , Macao (China), Republic of Korea (n=6) |
| 2 | NVC requesting verification of elimination in 2016 | Hong Kong SAR (China) (n=1) |
| 3 | NVC concluded to have achieved elimination but deferred verification because of ongoing outbreak | New Zealand (n=1) |
| 4 | Approaching elimination, but with surveillance gaps | Lao People's Democratic Republic, Pacific islands, Singapore (n=3) |
| 5 | Re-established transmission | Mongolia (n=1) |
| 6 | Endemic measles virus transmission | China, Malaysia, Papua New Guinea, the Philippines, Viet Nam (n=5) |

麻疹

015



海外に行く方へ

厚生労働省

みんなで目指そう
「麻しんがゼロ」
MASINGER ZERO
MAZINGER Z 劇場版 マジンガーZ

麻しん(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に 麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。

帰国した後に 帰国後2週間程度は健康状態に注意しましょう。

麻しんとは

| | | | |
|------|--|----|---|
| 感染経路 | 麻しんウイルスは感染力が非常に強く、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。 | 症状 | 高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状が出ます。重症中あるいは帰国直後に症状がなくても、1週間以上たってから発症する場合があります。 |
|------|--|----|---|

世界には麻しんが流行している国・地域があります。

厚生労働省 麻しん対策 詳細はこちら

世界ではまだ麻疹対策が
わが国で麻疹排除状
1期、2期における麻疹
どうぞよろしくお願いし

がある

ある

- Not Verified
- Verified
- Re-established transmission

インドネシア出張中に麻疹脳炎を発症した成人男性の一例 (IASR Vol. 38 p.104-105: 2017年5月号)

36歳男性, **2016年8月中期出張のためジャカルタに滞在**。渡航前は会社から推奨のあった**A型肝炎ウイルスワクチン, B型肝炎ウイルスワクチン, 日本脳炎ワクチン**の接種を確認した。

9月上旬に顔面の腫脹, 2日後より高熱と全身の発疹, 意識レベルの低下を認め, 現地病院に緊急入院となり, **気管内挿管, 人工呼吸器管理**となった。咽頭ぬぐい液の麻疹抗原陽性, 髄液麻疹IgM抗体陽性より**麻疹脳炎と診断**された

出張の際に輸入感染症としての麻疹を考慮に入れ, 適切な予防を行うことの重要性を示唆する症例である。

感染症ニュース, 流行情報, 集団感染

【はしか(麻疹)】はしか県内4人目 勤務先で患者と接触 / 石川県

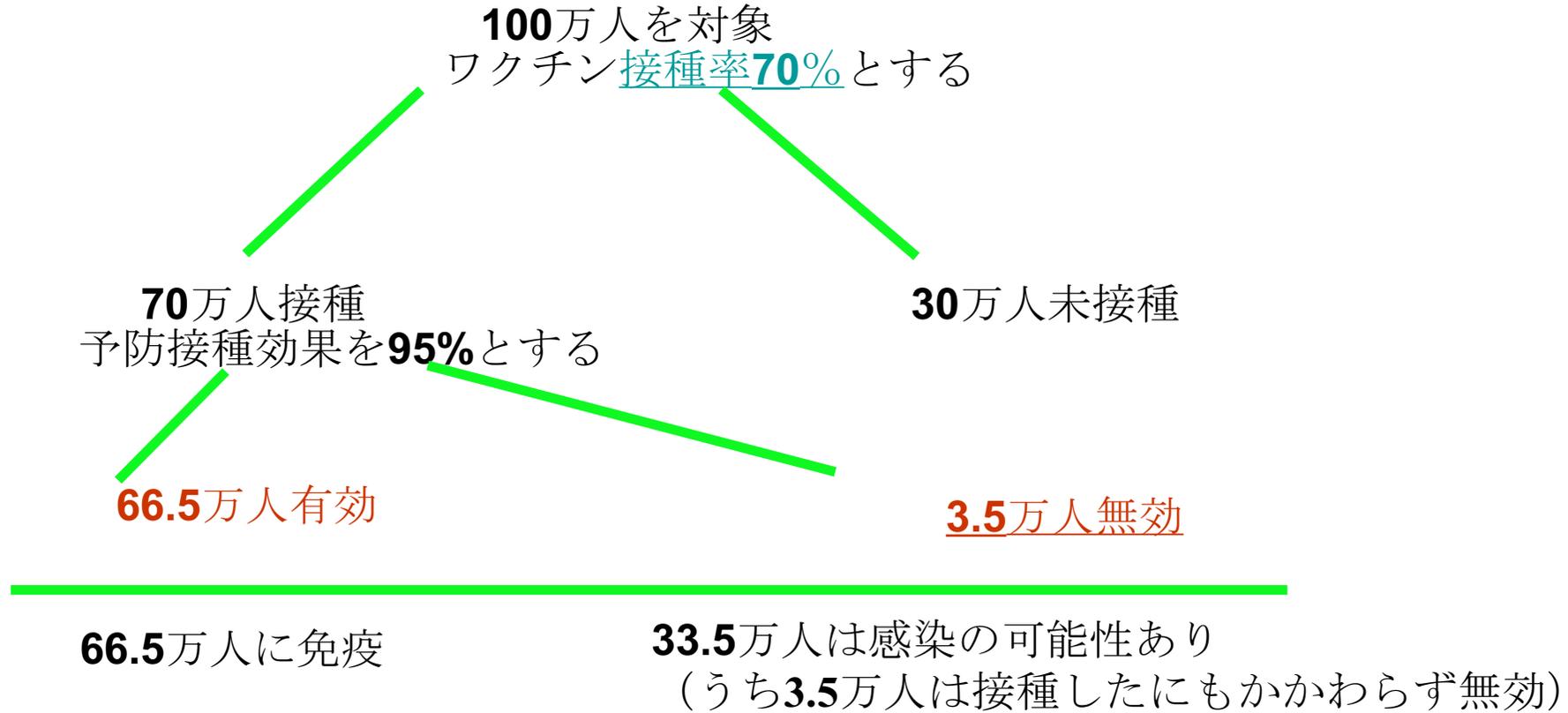
<http://www.news24.jp/nnn/news87115979.html>

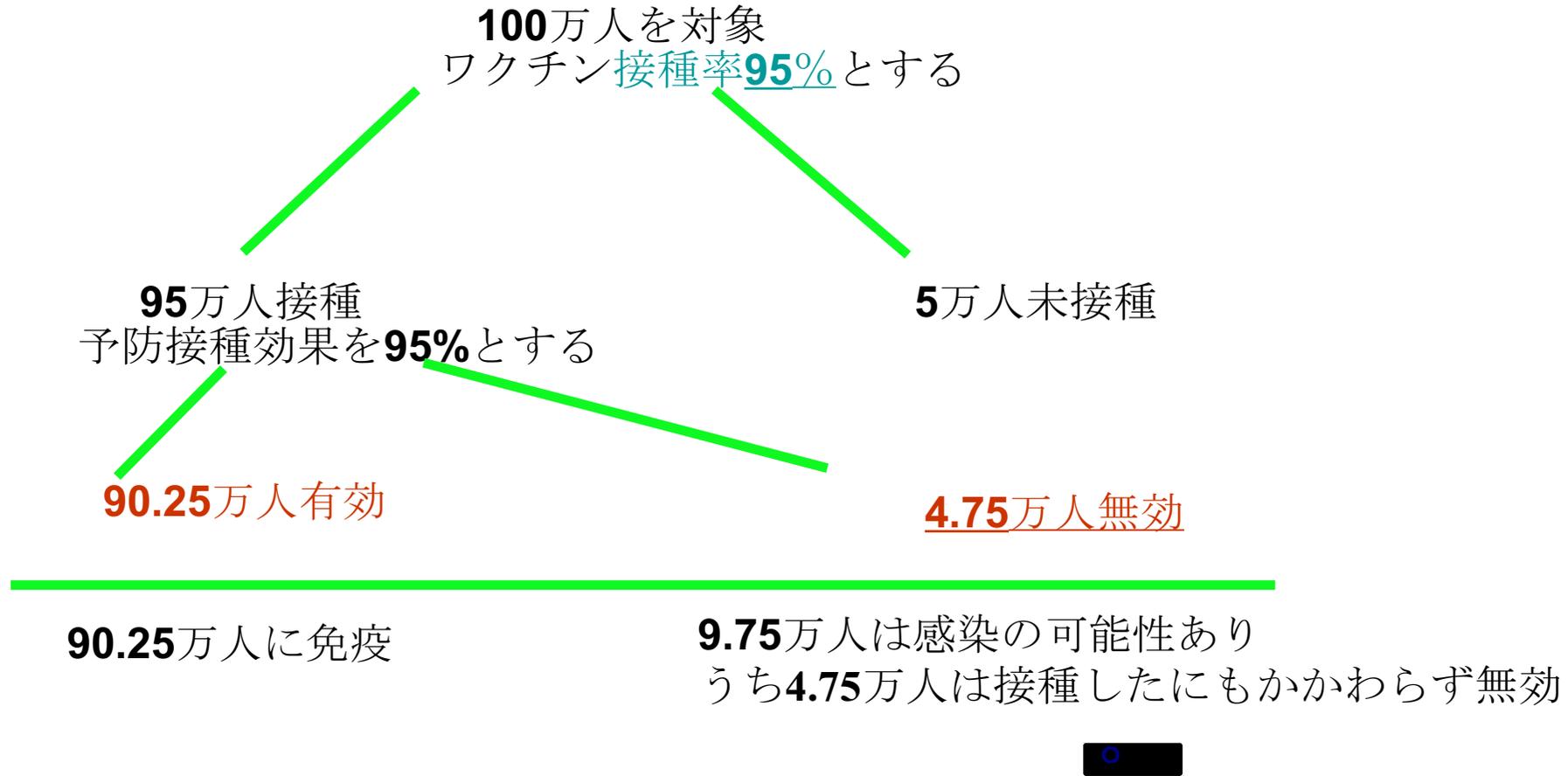
2017/4/25

県内でまた新たな「はしか」の感染が確認された。4月に入ってから4人目。1人目の患者から感染したとみられていて、関係機関が注意を呼びかけている。

県内では**インドから帰国**した金沢市の40代の男性が4月10日、はしかに感染していたことが確認されてから**4人目の患者**となる。

感染者の中にはワクチン接種者が多くなってきている ワクチンが効かなくなっている……？





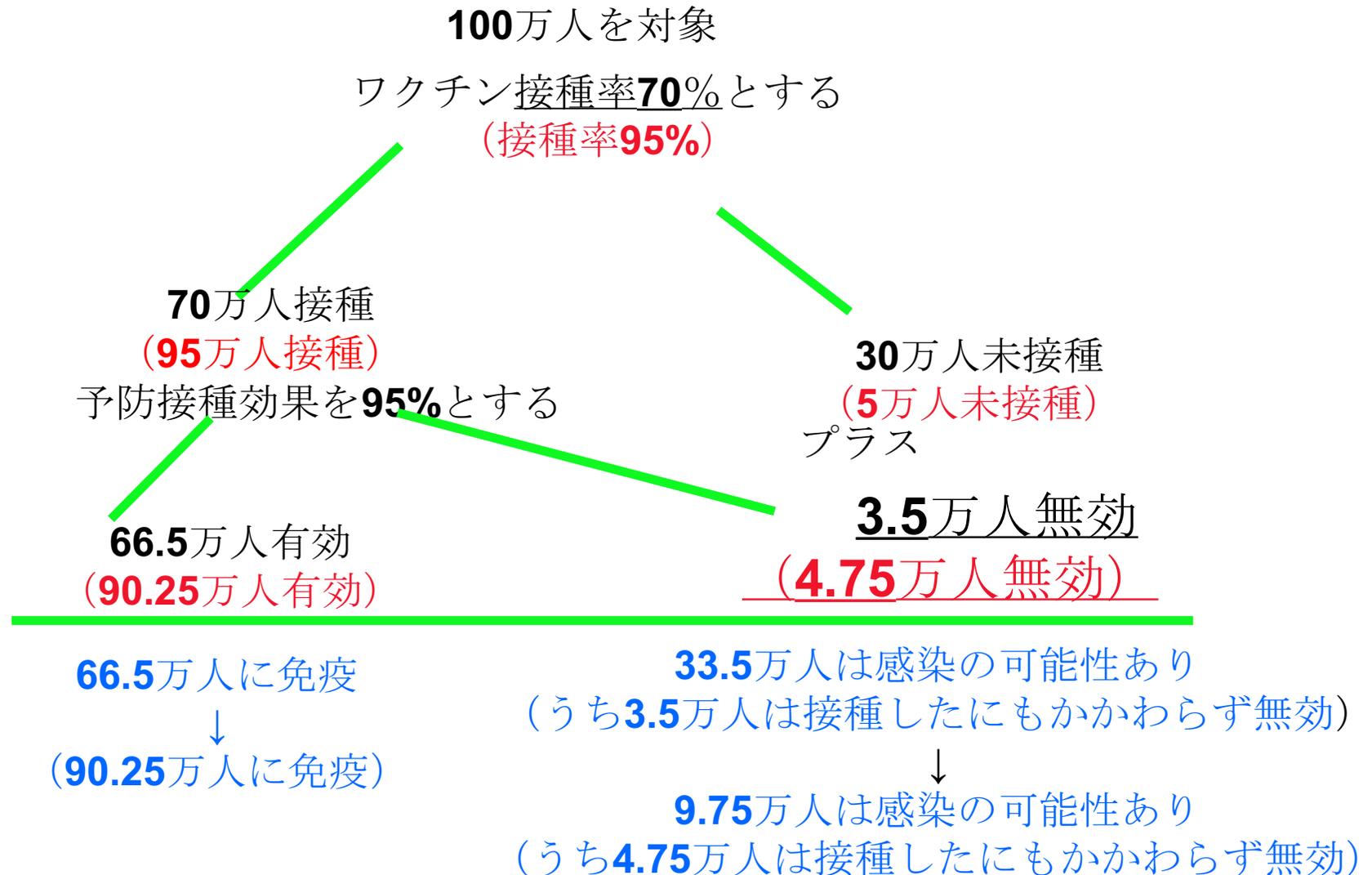


表1. 麻疹・修飾麻疹患者における、記録によるワクチン接種歴の分布 (n=31)

| | 麻疹 (n=5*) | 修飾麻疹 (n=26) |
|------------|----------------------|-------------|
| 年齢中央値 (範囲) | 30(23-32) | 24(21-39) |
| 2回 | 1 (20%) [§] | 13 (50%) |
| 1回 | 0 | 3 (12%) |
| 0回 | 3 (60%) | 0 |
| 不明 (記録なし) | 1 (20%) | 10 (38%) |

* うち入院例3例。修飾麻疹には入院例なし

[§]ただし、うち1回では記録にあるロット番号が注射用水であった





ねがわくば
天の神風
人の身に
がかるはしがを
ふりはらえかし

龜山小学校



ねがわくば
天の神風
人の身に
がかるはしがを
ふりはらえかし

愛知県渥美半島
伊良湖岬灯台



「三日ハシカ」にかかった妊婦から出産した
 赤ちゃんの検診：沖縄小児科専門医会
 那覇保健所、1966年6月28-29日

CRS 60人

胎児の発育に影響
 三日ハシカにかかった妊婦

科医会
 じ、これにかかった妊婦も多い。
 内をはじめ沖縄本島各地から赤ち
 この日は、検診開始から那覇市
 ゃんを抱いた主婦たちがつめか
 ゃんが検診を受けた。ひとりの母



不安な表情で赤ちゃんを検診させる母親たち＝衛研ホール

球新報 1966/6/28

琉球新報

夕刊

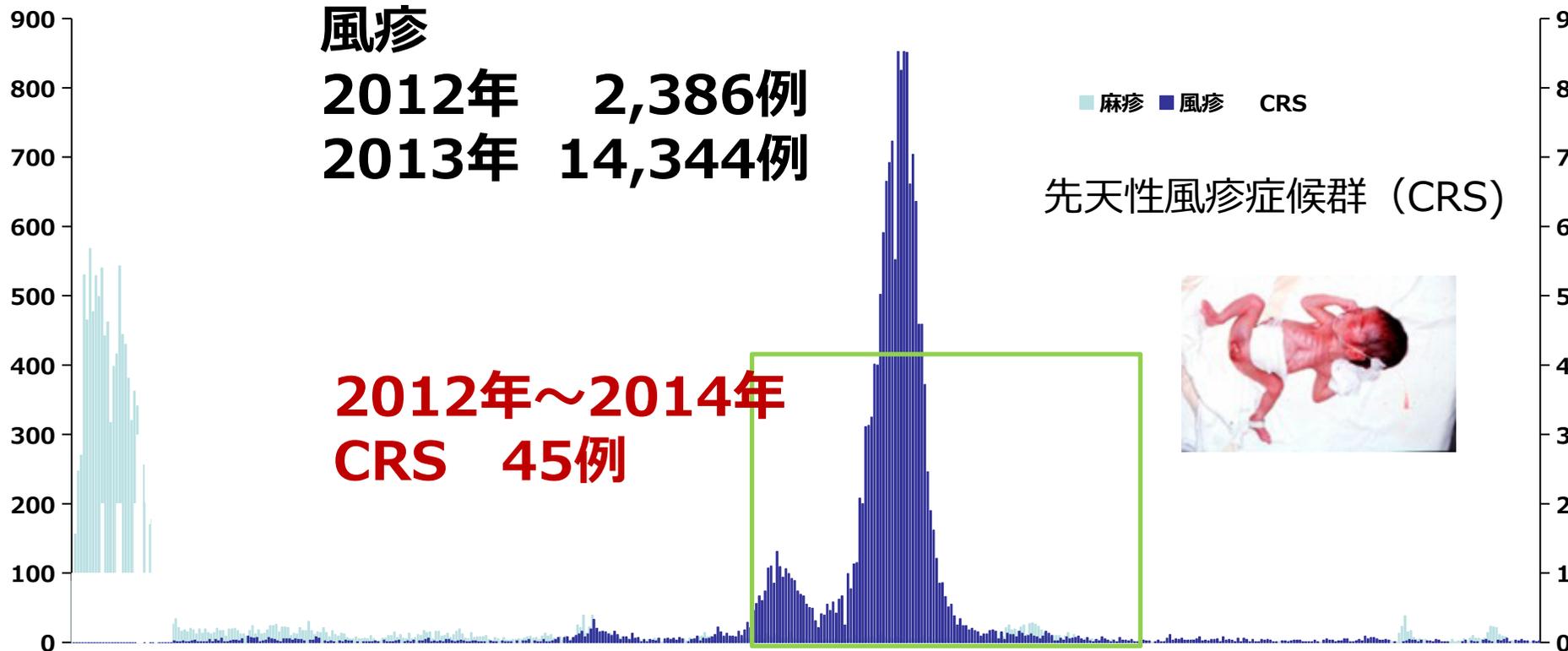
発行所
 琉球新報社
 那覇市下泉町2の8
 電話代表那覇(3)1131番
 私書団 那覇中郵 第15号

西南女学院大学
 植田浩司先生より

全数報告開始以降の麻疹風疹患者報告数の推移

2008年第1週～2017年第28週（感染症発生動向調査：2017年7月31日現在報告数）

麻疹・風疹患者報告数（人）



風疹

2012年 2,386例

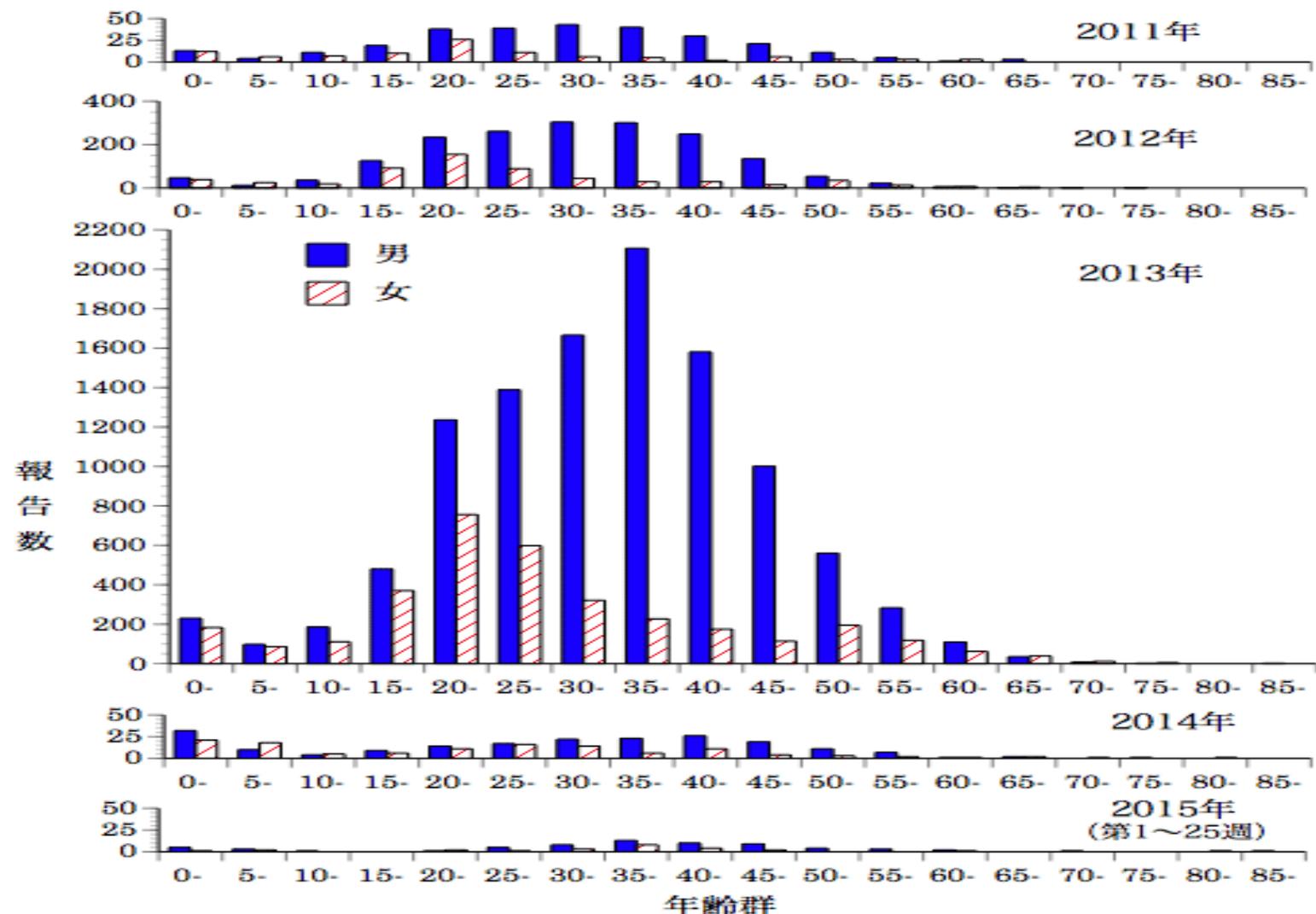
2013年 14,344例

2012年～2014年
CRS 45例



先天性風疹患者報告数（人）

図3. 風疹患者の性別年齢分布, 2011~2015年



(感染症発生動向調査：2015年6月24日現在報告数)

感染原因・感染経路（重複あり）

2013年1月～12月28日に感染症発生動向調査に報告された
20～60歳の男性風しん患者（9,862例）中、
感染原因・感染経路に記載があった1,761例で、

• 職場関連：1,207例（68.5%）

- 同僚からの感染：484例（40.1%）
- 職場で風しん患者と接触：237例（19.6%）
- 職場で流行があったのが127例（10.5%）

感染原因・感染経路（重複あり）

2013年1月～12月28日に感染症発生動向調査に報告された
20～60歳の女性風しん患者（2,515例）中、妊婦が25例（1.0%）であった
感染原因・感染経路に記載があった588例で、

- **職場関連：207例（35.2%）**
 - 同僚からの感染：71例（34.3%）
 - 職場で風しん患者と接触：37例（17.9%）
 - 職場で流行があったのが24例（11.6%）
- **家族：197例（33.5%）**
 - 夫：87例（44.2%）
 - 子ども：55例（27.9%）

静岡県における事業所3か所における風疹の集団感染事例2 015年1～3月

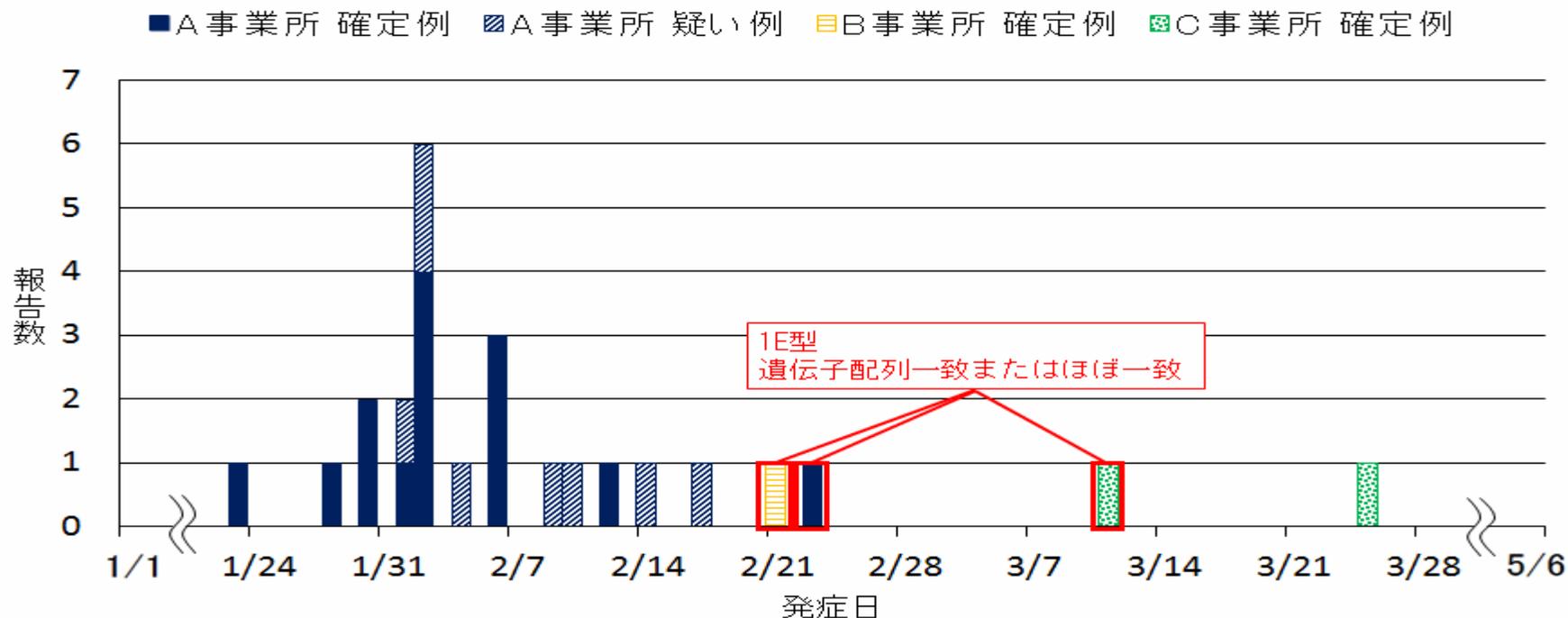
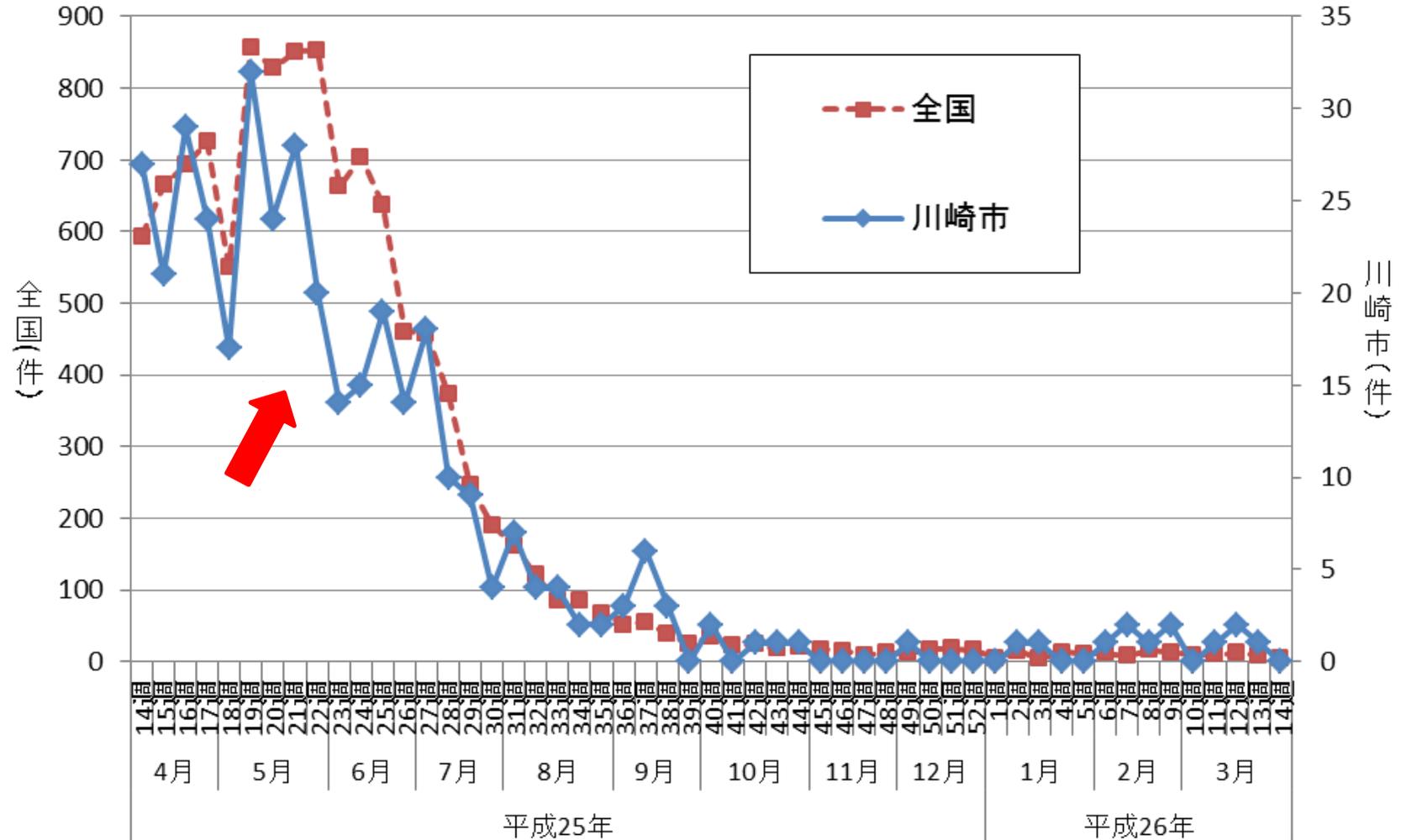


図. 事業所別風しん症例(2015/1/1～5/6 n=25)



A事業所は海外に工場があり、海外出張者や海外からの技能取得研修生が多く、今回の株が他国で検出された**インドネシア由来の風しんウイルスの塩基配列と近かった**ことを考慮すると、今回の集団発生事例は輸入例を発端とし、A事業所内で感染拡大、さらに、感染経路は不明だが、A事業所からB、C事業所へ広がった可能性が考えられた。

全国と川崎市の風しん患者発生状況 (川崎市では全国に先駆けて減少開始)



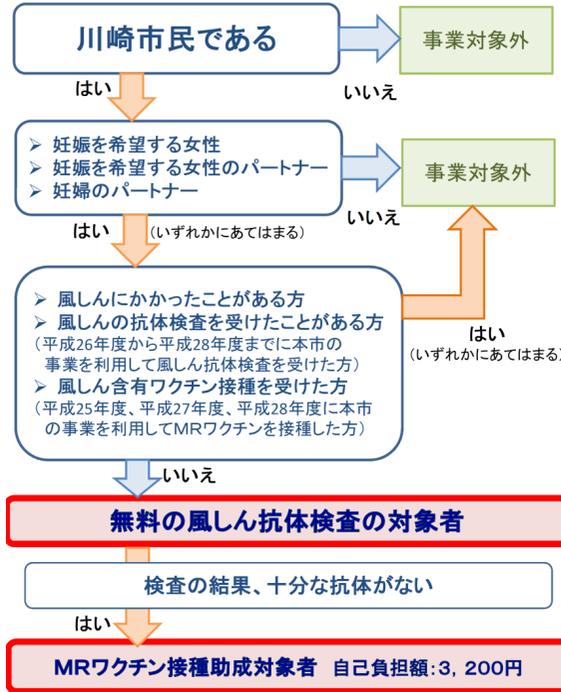
～平成29年度 川崎市風しん対策事業～

先天性風しん症候群の
予防のために・・・

風しん抗体検査の無料実施と
抗体価の低い方への
ワクチン接種費用の一部助成を実施します

対象者についてはこちらのフローで御確認ください。

平成29年度川崎市風しん対策事業対象者フローチャート



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

2020年（平成32年）
東京オリンピック・
パラリンピック



- 抗体が十分でなかった場合のワクチン接種は、**同一年度内**に実施してください。
 - 抗体検査とワクチン接種は、必ず**同一の医療機関**で実施してください。
 - ワクチン接種のみの費用助成はしていません。
 - 妊娠中の方はワクチン接種できません。
 - 女性の場合、**接種後2ヶ月間は避妊**をする必要があります。
 - MRワクチンをご用意できない場合には、無料の抗体検査のみの実施となる場合があります。
- 以上のことをご了解の上で事業を御利用ください。
川崎市健康福祉局保健所感染症対策課 044-200-2441

Countries using rubella vaccine in their national immunization system

1996
83 countries
13% of birth cohort

0 1'150 2'300 4'600 Kilometers



2011
130 countries
41% of birth cohort

0 900 1'800 3'600 Kilometers



Source: WHO/IVB database and the "World Population Prospects 2012".

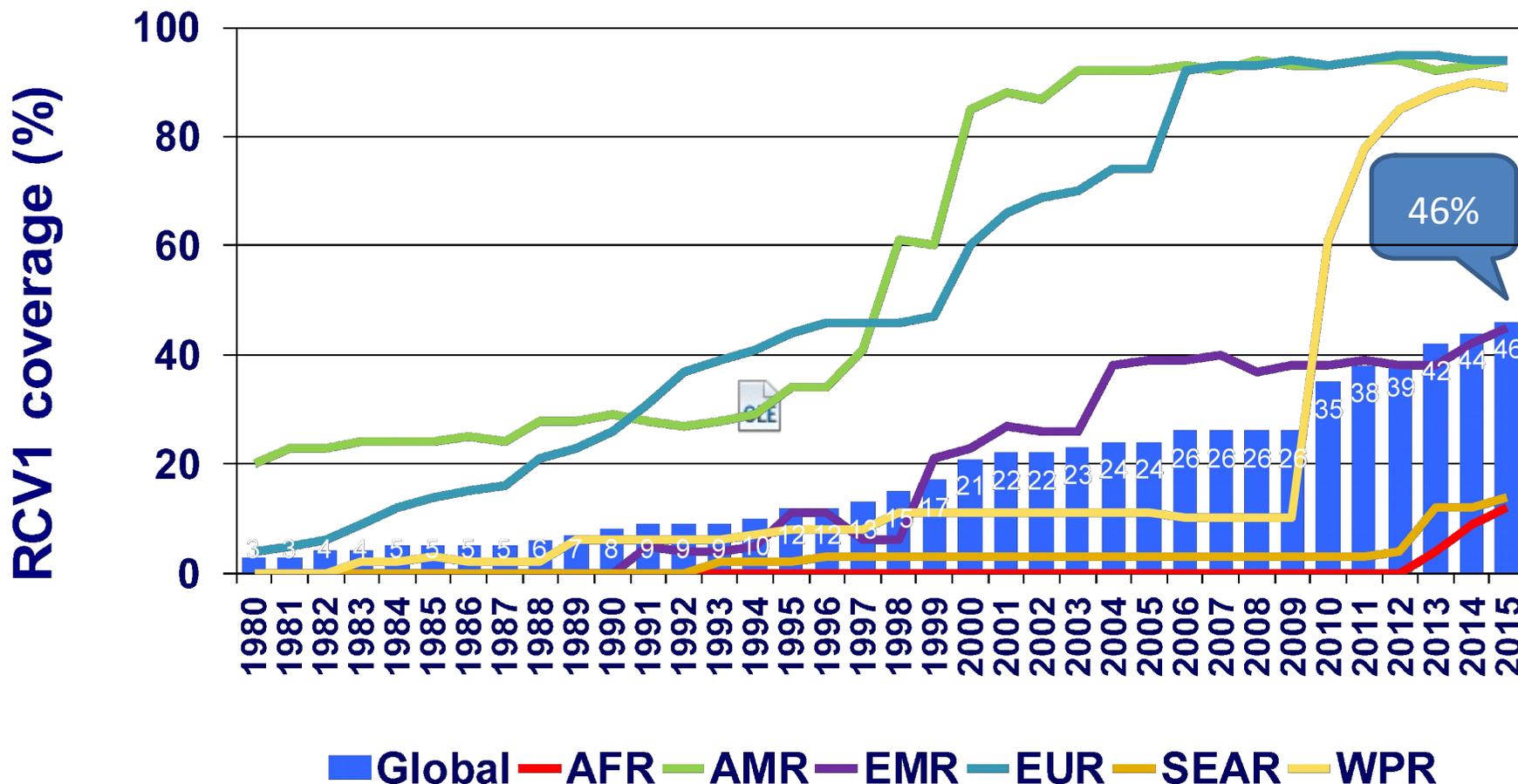


Expanded
Programme on
Immunization

Half of global birth cohort without access to rubella vaccine

Rubella containing vaccine 1st Dose (RCV1) coverage*

by WHO region, 1980-2015

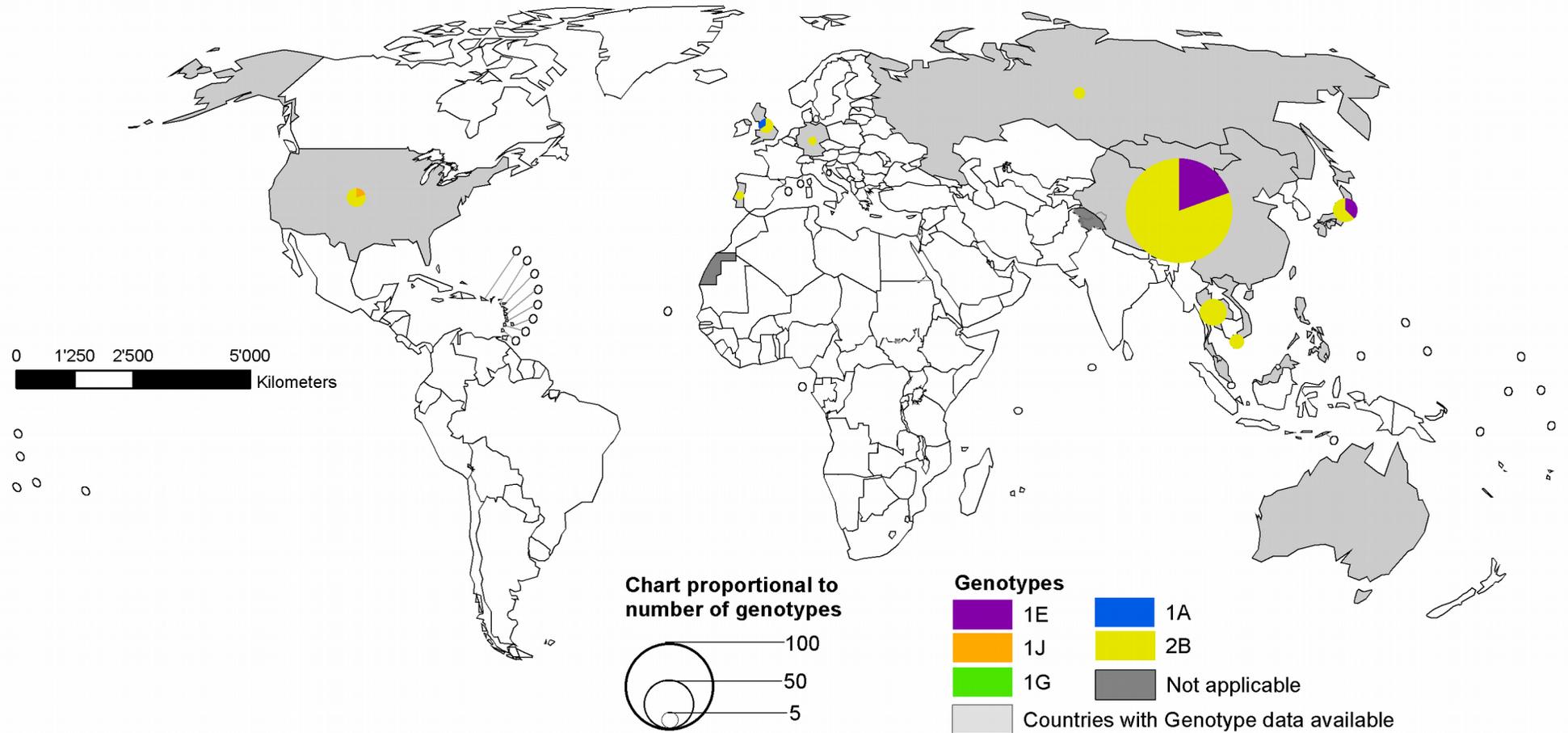


Source: WHO/UNICEF coverage estimates 2015 revision. July 2016
 .Immunization Vaccines and Biologicals, (IVB), World Health Organization
 .WHO Member States. Date of slide: 16 July 2016 194

*coverage estimates for the 1st dose of rubella containing vaccine are based on WHO and UNICEF estimates of coverage of measles containing vaccine.



Distribution of Rubella Genotypes 2015



Data in HQ as of 7 March 2016

Note: Pie chart proportional to the number of sequenced viruses: China data has been adjusted by size (total genotyped = 255).

and global update 2016

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 麻しん | 447 | 439 | 283 | 229 | 462 | 35 | 159 | 164 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|

出典：感染症発生動向調査

風しんの排除認定に向けた取り組み

参考資料 3

平成 29 年 6 月 19 日
健康局結核感染症課

1. 背景

- 2020 年までに風しんの排除状態を達成することを目標としている。
- 排除状態とするためには、以下を確認し、WHO に報告する必要がある。
 - ・全ての発生事例について疫学調査を行い、輸入症例であること
 - ・8割以上遺伝子検査を行い、海外において流行している遺伝子型であること
- 排除状態が3年間継続されれば排除認定される。

2. 発生状況

- 風しんの発生報告数は、近年急激に減少し、平成 27、28 年度においては百件台となり、疫学調査や遺伝子検査の実施が物理的に可能な件数となった。

【発生報告数】※平成 29 年 6 月 7 日時点

| 年 | 22 年 | 23 年 | 24 年 | 25 年 | 26 年 | 27 年 | 28 年 | 29 年※ |
|-----|------|------|-------|--------|------|------|------|-------|
| 風しん | 87 | 378 | 2,386 | 14,344 | 319 | 163 | 125 | 44 |
| 麻しん | 447 | 439 | 283 | 229 | 462 | 35 | 159 | 164 |

出典：感染症発生動向調査

3. 課題

- 疫学調査については、指針において、「集団発生時に実施」となっていることから、平成 28 年度は集団発生がなかったことから、1 例も実施されていない。
- 遺伝子検査については、指針において「可能な限り実施」となっていることから、平成 28 年度は実施割合が 1 割に止まっている。
- 届出が「7 日以内に報告」となっていることから、仮に 7 日後に届出された場合に、遺伝子検査の時期を逸し、さらに疫学調査の開始が遅れて疫学リンクが追えなくなる恐れがある。

【現在の対応状況】

| | 風しん | 麻しん |
|---------|---|--|
| 積極的疫学調査 | 集団発生時に実施【指針】 | 1 例発生したら実施【指針】 |
| サーベイランス | ○届出【法 12①ii、則 4④】 ・5 類感染症 全数把握疾患 ・7 日以内に報告【則 4④】 ・患者の年齢、性別等【則 4⑥】 ○遺伝子検査【指針】 可能な限り実施 | ○届出【法 12①i、則 4③】 ・5 類感染症 全数把握疾患 ・直ちに報告（平成 27 年 5 月 21 日から） ・患者の氏名、年齢、性別、職業、住所等【則 4①】 ○遺伝子検査【指針】 原則として全例実施 |

4. 対応案

- 省令、指針を改正し、麻しんと同じ位置づけとする。

3. 課題

- 疫学調査については、指針において、「集団発生時に実施」となっていることから、平成 28 年度は集団発生がなかったことから、1 例も実施されていない。
- 遺伝子検査については、指針において「可能な限り実施」となっていることから、平成 28 年度は実施割合が 1 割に止まっている。
- 届出が「7 日以内に報告」となっていることから、仮に 7 日後に届出された場合に、遺伝子検査の時期を逸し、さらに疫学調査の開始が遅れて疫学リンクが追えなくなる恐れがある。

【現在の対応状況】

| | 風しん | 麻しん |
|---------|---|--|
| 積極的疫学調査 | 集団発生時に実施【指針】 | 1 例発生したら実施【指針】 |
| サーベイランス | ○届出【法 12①ii、則 4④】 ・5 類感染症 全数把握疾患 ・7 日以内に報告【則 4④】 ・患者の年齢、性別等【則 4⑥】 ○遺伝子検査【指針】 可能な限り実施 | ○届出【法 12①i、則 4③】 ・5 類感染症 全数把握疾患 ・直ちに報告（平成 27 年 5 月 21 日から） ・患者の氏名、年齢、性別、職業、住所等【則 4①】 ○遺伝子検査【指針】 原則として全例実施 |

4. 対応案

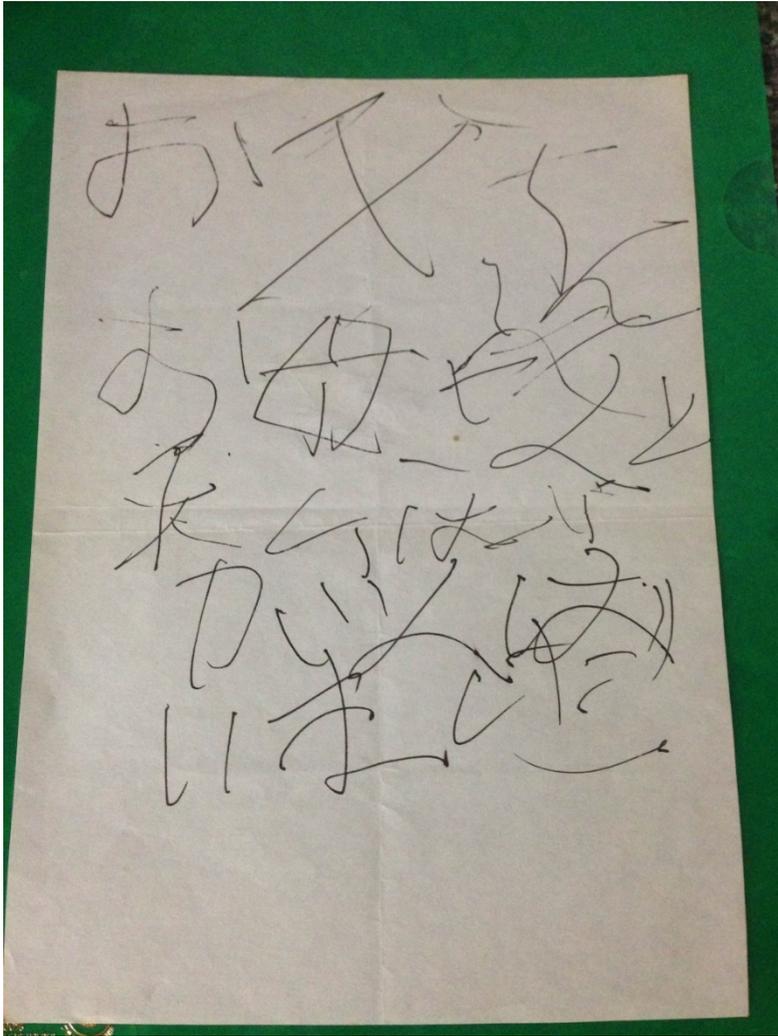
- 省令、指針を改正し、麻しんと同じ位置づけとする。

風疹はなぜ予防するのか？



- 血小板減少性紫斑病、脳炎等の合併症が存在する。
- 妊娠初期に妊婦が風疹に罹患すると
先天性風疹症候群（先天性心疾患、聴力障害、視力障害、発育障害等）の児を出産する可能性が高い。





お父さんと
お母さんと
私はがんばりました

18歳 CRS

麻疹・風疹対策
引き続きどうぞよろしく
お願いいたします

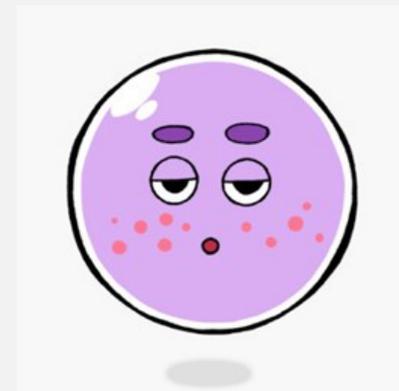
ご清聴
ありがとうございました
okabe-n@city.kawasaki.jp



川崎市健康安全研究所



ミズルス



ルベラ

